



National Institute of Informatics

---

NII Technical Report

**科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性  
度の調査研究 - 2003 年度(平成 15 年度)版 - .総合・  
新領域系および大型研究費編**

**Evaluation of Japanese Universities' Research  
Activity Based on the Number of Awards of  
*Grants-in-Aid for Scientific Research* - 2003 Fiscal  
Year - . Interdisciplinary and New Area &  
Large-scaled Project Funds**

野村浩康、前田正史、光田好孝、前橋 至、  
根岸正光、柴山盛生、西澤正己、孫 媛、杉田茂樹  
Hiroyasu NOMURA, Masafumi MAEDA, Yoshitaka MITSUDA,  
and Itaru MAEBASHI,  
Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA, Masaki NISHIZAWA,  
Yuan SUN, and Shigeki SUGITA

NII-2005-007J  
Mar.2005

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity Based on the Number of Awards of *Grants-in-Aid for Scientific Research* – 2003 Fiscal Year – IV. Interdisciplinary and New Area & Large-scaled Project Funds

Hiroyasu NOMURA  
Masafumi MAEDA  
Yoshitaka MITSUDA  
Itaru MAEBASHI  
Masamitsu NEGISHI  
Morio SHIBAYAMA  
Masaki NISHIZAWA  
Yuan SUN  
Shigeki SUGITA

科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究 - 2003年度(平成15年度)版 - . 総合・新領域系および大型研究費編

野村浩康  
前田正史  
光田好孝  
前橋 至  
根岸正光  
柴山盛生  
西澤正己  
孫 媛  
杉田茂樹

科学研究費補助金採択研究課題数による  
大学の研究活性度の調査研究  
- 2003 年度(平成 15 年度)版 -  
. 総合・新領域系および大型研究費編

野村浩康  
東京電機大学

前田正史 光田好孝 前橋至  
東京大学

根岸正光 柴山盛生 西澤正己 孫 媛 杉田茂樹  
国立情報学研究所

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity  
Based on the Number of Awards of  
*Grants-in-Aid for Scientific Research* – 2003 Fiscal Year –  
IV. Interdisciplinary and New Area & Large-scaled Project Funds

Hiroyasu NOMURA  
Tokyo Denki University

Masafumi MAEDA, Yoshitaka MITSUDA, Itaru MAEBASHI  
The University of Tokyo

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA, Masaki NISHIZAWA,  
Yuan SUN, Shigeki SUGITA  
National Institute of Informatics

## Abstract

The system of *Grants-in-Aid for Scientific Research* from Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan is one of the oldest ones, which is the funding system for researchers belonging to universities and institutes in Japan. The fund was allotted to each researcher by peer review under the application for their own research projects.

According to development of the science and technology, the research field codes of *Grants-in-Aid for Scientific Research* have been revised every five years. By the middle of 2002 fiscal year, the large modification was discussed and pursued on the research field codes. A new revised table on research field codes was used from the application for 2003 fiscal year research projects.

This is the fourth report for 2003 fiscal year's version, that is, the research field of interdisciplinary and new area & large-scaled project funds. As for other research fields, the first report on humanity and social sciences, the second report on sciences and engineering, and the third report on biosciences were already published, while other consecutive reports will be continuously published.

The total number of adopted subjects of research projects at 2003 has been summed up for each universities and institutes on individual new research field of the interdisciplinary and new area, and compared to those of 1998-2002 which were reported previously. The large-scale national and big private universities were still strong in a higher rank in every field.

On the whole, large-scaled project funds involve the big project of Scientific Research on Priority Area, and the huge grants for Specially Promoted Area and for Creative Scientific Research. The modification of research field codes has no influence on these funds. Therefore, the tendency of university ranking on the total number of adopted subjects of these funds was identical to the report on these funds from 1998 to 2002, which was already published in 2004.

## 目 次

### ・科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1 . はじめに .....	1
2 . 2003 年度（平成 15 年度）「系・分野・分科・細目表」の変更に伴う 採択研究課題の移行の包括的な状況 .....	4
3 . 科学研究費補助金採択研究課題数データベース .....	6
4 . 調査分析の具体的な整理集計方針について .....	6

### ・科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度：総合・新領域系編

1 . 概要 .....	8
2 . 分野別 .....	20
2 - 1 総合領域 .....	20
2 - 2 複合新領域 .....	38

### ・科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度：大型研究費編

1 . 概要 .....	47
2 . 大型研究費（特定領域研究・特別推進研究等）の特徴 .....	51
3 . 研究種目別 .....	51
3 - 1 特定領域研究 .....	51
3 - 2 特別推進研究 .....	56
3 - 3 学術創成研究費 .....	57

## ・科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性化の調査研究について

### 1. はじめに

科学研究費補助金の「系・部(分野)・分科・細目表」(以下「細目表」という。)は基盤研究等の種目に関し審査分野の区分を示す分類表であり、研究者は実施しようとする研究計画の内容を考え適切な細目を自ら選ぶことになっている。したがって、科学研究費補助金の「細目表」は不断に進展を続ける学問・研究の動向に合う適切なものでなければならない。

科学研究費補助金の「細目表」については1993年度(平成5年度)に抜本的改正が行われ、以後5年ごとに見直されることが平成5年度募集要項に付記された。学術審議会科学研究費分科会(当時)に「分科細目改正検討委員会」が設置されたが、1998年度(平成10年度)は小規模な改正に留められ、2003年度(平成15年度)に大幅な改正を行うことにした。

今回の改正は、学術審議会答申「科学技術創造立国を目指す我が国の学術研究の総合的推進について」(1999年(平成11年)6月29日)に基づき、2000年度(平成12年度)に学術審議会科学研究費分科会審査第一部会に「分科細目改正検討委員会」が設置され、「細目表」についての検討が続けられた。日本学術会議および17の関連学会等の修正・追加意見等を参考に、最終的に新たな「細目表」が決定された。

新たな「細目表」の策定にあたって、科学研究費補助金が人文・社会科学から自然科学までのあらゆる分野を対象とし、研究者の自発的な研究計画に柔軟に対応すると共に、円滑な審査が行えるようにという観点から、次の4点を中心に検討された。

- (1) 学問の進展に的確に対応するために細目を抜本的に見直すこと。
- (2) 研究者の申請にあたって適切な細目のない学際的領域への対応。
- (3) 伝統的な学問の分類に収まりきれない、新しい研究分野への対応。
- (4) 新しい学問分野の申請に対する適切な審査体制の確立。

その結果、今回2003年度(平成15年度)の「細目表」の改正はこれまでにない大幅なものになった。その要点は細かな制度的なことを除けば、次の3点にあると理解できる。

- (1) 「細目表」は、これまでの伝統的な学部(文学・法学・経済学・理学・工学・農学・医学)と複合領域との9つの「部」構成から、4系(総合・新領域系、人文社会系、理工系、生物系)構成へ変更され、細目数を242から278に増やした。
- (2) 部：複合領域を大幅に見直して「総合・新領域系」とし、2つの系にまたがる総合的な分野「総合領域」と2つ以上にまたがる比較的新しい分野「複合新領域」に分けて、柔軟に対応することとした。
- (3) 「総合・新領域系」の分科・細目を、キーワードにより複数のグループに分け、適切なキーグループ審査が導入された。これに伴い他の3系についても全ての細目にキーワードを付した。詳しくは次の科学技術・学術審議会のWebページを参照されたい。

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/011220/011220.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/011220/011220.htm)

2003年度(平成15年度)の「細目表」の大改訂を考慮して、昨年度(2003年度(平成15年度))に、1998年度(平成10年度)~2002年度(平成14年度)の5年間の全ての分野にわたって科学研究費補助金採択研究課題を分析した。その結果から我が国の大学・研究機関の研究活性化度を調べ、国立情報学研究所の「NIIテクニカルレポート」(NII-2003-007J(2003),NII-2004-001~5J(2004))として、Web

上に公表した。

本調査報告は、同様の調査研究の2003年度（平成15年度）版である。このような調査研究には連続性が必要であるので、1998年度～2002年度の調査研究と同じ方針でデータの整理・分析を行う。特に、2003年度（平成15年度）の新しい「細目表」が研究者の申請・採択状況にどのような変化をもたらしたかを中心に解析することにする。

今回の改正で「細目表」は大幅に改訂されたが、科学研究費補助金の配分額の割合は多少変化したものの、研究種目そのものは変わっていない。したがって、1998年度（平成10年度）～2002年度（平成14年度）と同様に、個別課題研究費（基盤研究・萌芽研究・若手研究・特別研究員奨励費）と大型研究費（特別推進研究・特定領域研究・特別研究促進費・学術創成研究費）と研究成果公開促進費、審査・評価・分析経費に分け、個別課題研究費、大型研究費について解析する。

上記枠組みにおける2002年度（平成14年度）と2003年度（平成15年度）との予算配分変化を図1-1に示す。図から明らかなように、項目別予算はほとんど変化していない。言い換えれば、全体的な枠組みの変化はないと見ることができる。

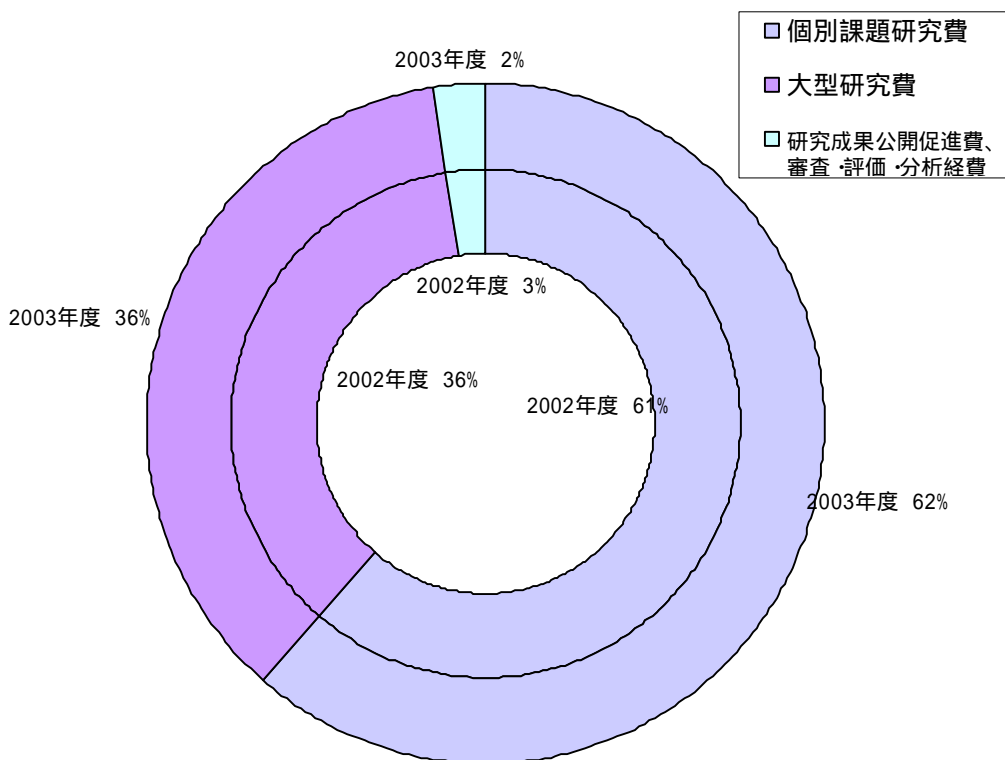


図1-1 2002年度(内周)と2003年度(外周)の科学研究費補助金の項目別予算

「細目表」は、伝統的な学部に対応する9つの「部」から4系・10分野に変更されている。個別課題研究費について、採択研究課題数の変化を次の図1-2-1と1-2-2に示す。大雑把に言えば、人文社会系が15%から17%に微増し、医学が33%から31%に多少減少した以外に目立った変化はない。

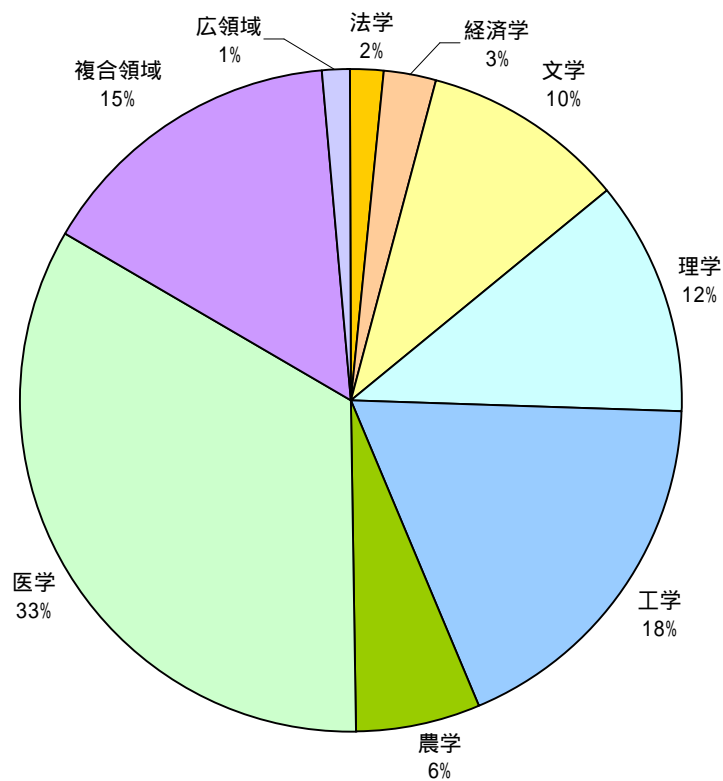


図 1 - 2 - 1 2002 年度科学研究費補助金の「部」別採択研究課題数の割合

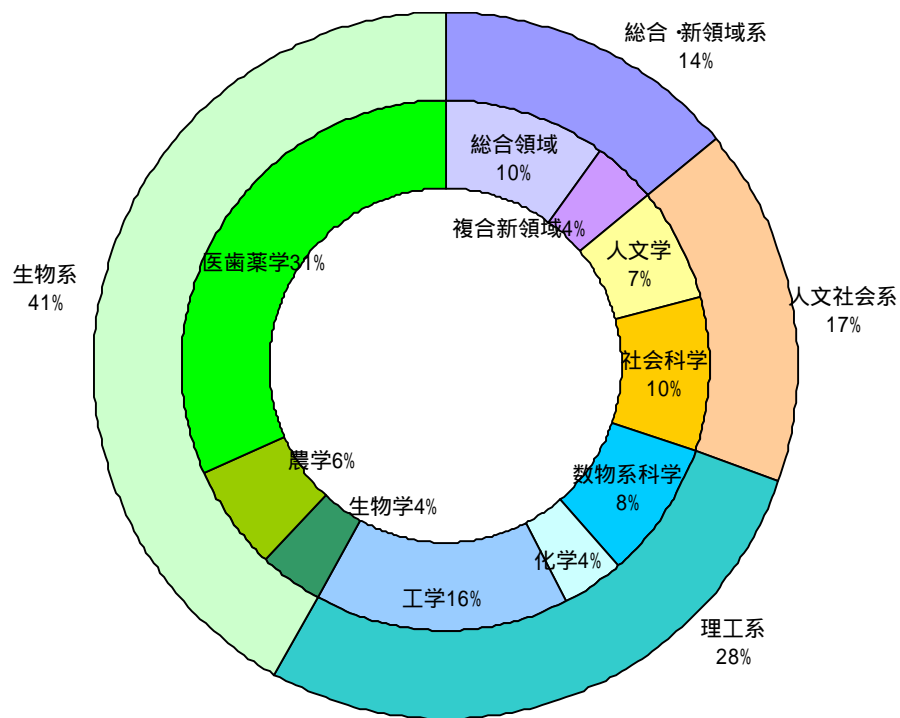


図 1 - 2 - 2 2003 年度科学研究費補助金の「系」別および「分野」別採択研究課題数の割合



## 2. 2003 年度（平成 15 年度）「系・分野・分科・細目表」の変更に伴う採択研究課題の移行の包括的な状況

2003 年度（平成 15 年度）科学研究費補助金の公募にあたって、日本学術振興会では 2002 年度（平成 14 年度）科学研究費補助金採択研究課題のうち、2003 年度（平成 15 年度）に継続する研究課題の申請については、一部を除いて申請すべき新しい「細目」分野をすべて指示した。2003 年度（平成 15 年度）の科学研究費補助金の個別研究費の採択研究課題数のうち新規・継続件数を整理すると全採択研究課題数 35,525 件中、継続課題数は 20,527 件で全採択研究課題数の 57.8%を占める。2002 年度（平成 14 年度）からの継続研究課題について旧細目番号と新細目番号の両者を調べ、「分科」レベルでの移行の状況を図 1 - 3 に示す。旧研究コードの「分科」、新研究コードの「分科」は、それぞれの「部」または「分野」全体を 100 としたときの割合を併せて示してある。割合の少ないものは、ここでは省略してある。

なお、以下、2003 年度（平成 15 年度）からの「細目表」を「新研究コード」、2002 年度（平成 14 年度）までの「細目表」を「旧研究コード」と呼ぶこととする。

今回の改訂により、いくつかの点で大きく変更されたところがある。

人文社会系では、旧研究コードの部：文学の中の分科：心理学・社会学・教育学・文化人類学がそれぞれ新研究コードの「分科」として独立し、そのうち、分科：社会学、心理学、教育学は分野：社会科学に編入された。また、旧研究コードの分科：文学が新研究コードの分科：言語学、文学として再編されている。

理工系では、旧研究コードの部：理学の分科：生物学が新研究コードの系：生物系に移動した。また、旧研究コードの部：理学の分科：化学と部：工学の分科：応用化学系を新研究コードの分野：化学が包含し、新研究コードでは分野：数物系科学や工学と並ぶ「分野」となった。

生物系には、旧研究コードの部：理学の分科：生物学以外に、旧研究コードの部：農学、医学がグループとしてそのまま移行している。

これらの大きな改訂に合わせて複合領域は大幅に整理され、一部は新研究コードの系：人文社会系、理工系、生物系の各「分科」・「細目」に移行し、系：総合・新領域系として分野：総合領域と新複合領域とに整理された。これにあわせて、新たに、分科：ナノ・マイクロ科学、ゲノム科学、ジェンダー等が分野：新複合領域に分科として設けられた。

このような移行がどのような影響を与えたかは 2003 年度（平成 15 年度）の新規採択研究課題数も含めた「分野」・「分科」ごとに機関別に採択研究課題数を見ていくことにする。

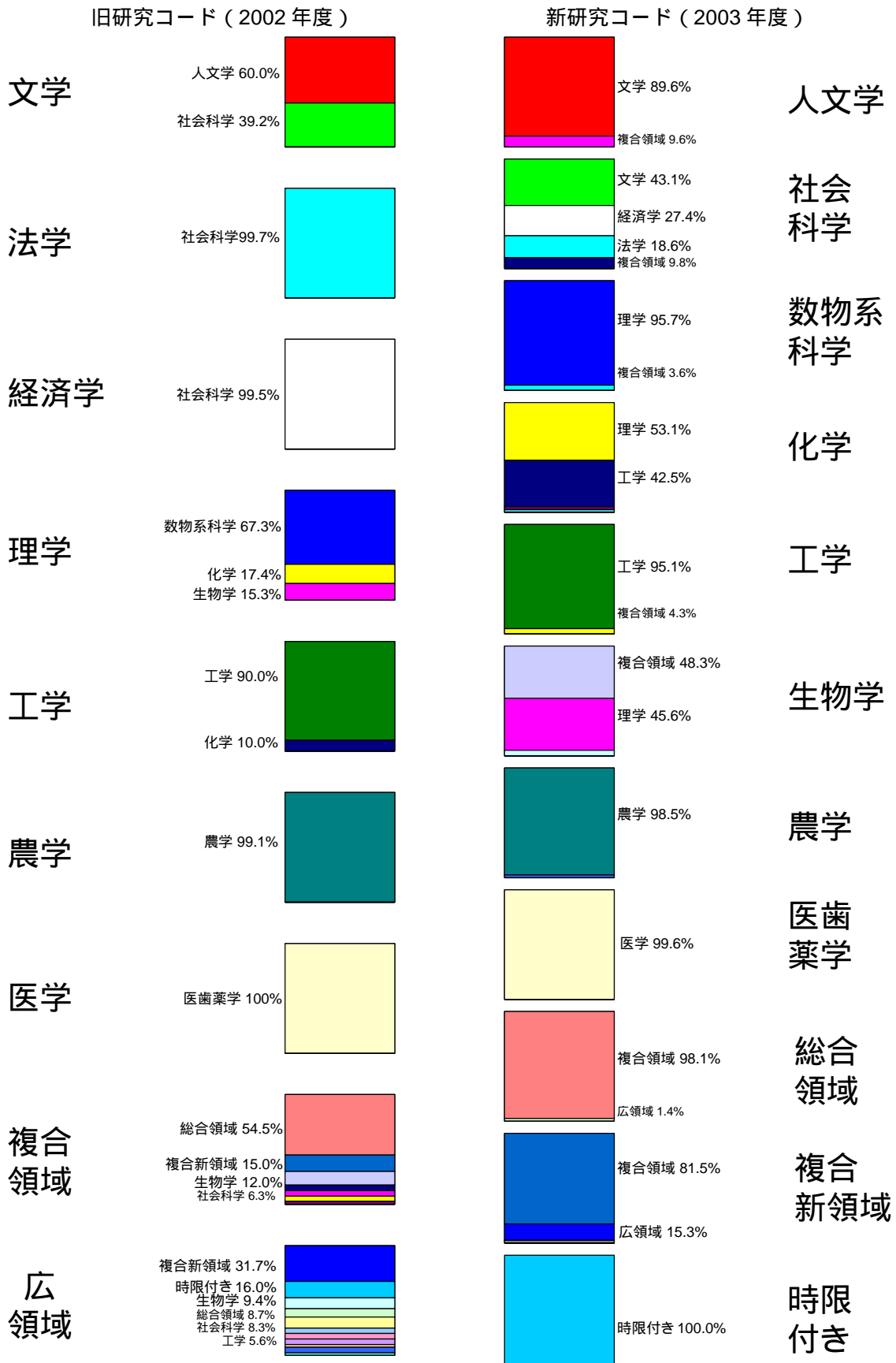


図 1 - 3 2003 年度継続採択研究課題の 2002 年度からの移行の状況

### 3 . 科学研究費補助金採択研究課題数データベース

科学研究費補助金採択件数その他、採択研究課題等については、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」(ぎょうせい発行)として、毎年10月に公表・刊行されている。これらの科学研究費補助金採択課題等については、近年、国立情報学研究所からNACSIS-IR Web frontでも公開されている。

本調査研究、特に個別研究費の調査分析にはNACSIS-IR Web frontに公開されているデータベースを用いた。本調査分析に用いたデータベースの概要を表1 - 2に示した。

### 4 . 調査分析の具体的な整理集計方針について

個別研究費編では、科学研究費補助金採択研究課題数による大学・大学院の研究活性度を、科学研究費補助金申請及び採択に用いられた新研究コード、系・分野・分科・細目にしたがって整理した。基本的には前回の1998年度(平成10年度)~2002年度(平成14年度)の分析の方針と同じである。

本調査・研究では次の方法で整理・分析することにする。

- (1) 各「系」について、2003年度(平成15年度)の科学研究費補助金の採択研究課題数の総数による機関別順位を50位まで整理する。これは、旧研究コードを用いた2002年度(平成14年度)までの5年間をまとめた前回の調査の文系・理系・医系等の分類に対応する。
- (2) 各「分野」は新しく編成され旧9「部」とは異なるが、12分野にわけられており、おおむね学部レベルの学問分野に対応している。各「分野」について、科学研究費補助金採択研究課題数による機関別順位を50位まで整理する。
- (3) 「分科」については、文学、法学、経済学、薬学等学部に対応する学部もあるが、基本的には各「分科」について科学研究費補助金採択研究課題数による機関別順位を30位まで整理する。ただし、課題数が1件以下と少ない場合には、2件までの順位とする。
- (4) 各「細目」については、今回は2003年度(平成15年度)単独年度でもあり、調査件数が少ないことから、分析の対象にはしなかった。この点については、現在の「細目表」が用いられる5年間の採択研究課題数の動向をいずれ見るときに改めて調査・分析の対象としたい。

表1 - 2 本調査・分析に用いたデータベースの概要(2003年度)

金額単位/千円

2003 (H15)			
	分野名	採択件数	配分額
若手研究 (A)	総合領域	41	276,700
	複合新領域	20	173,900
	人文学	9	25,800
	社会科学	12	31,800
	数物系科学	34	245,400
	化学	31	247,200
	工学	97	701,500
	生物学	23	161,900
	農学	24	156,700
医歯薬学	69	438,100	
若手研究 (B)	総合領域	939	1,323,900
	複合新領域	278	442,100
	人文学	443	450,900
	社会科学	827	916,200
	数物系科学	658	844,400
	化学	347	555,200
	工学	1,306	1,901,900
	生物学	329	516,900
	農学	432	644,200
医歯薬学	2,660	3,812,000	
基盤研究 (A)	総合領域	152	1,563,200
	複合新領域	119	1,356,700
	人文学	143	1,109,400
	社会科学	130	1,072,100
	数物系科学	192	1,947,400
	化学	83	968,700
	工学	358	4,104,000
	生物学	87	901,300
	農学	139	1,372,000
医歯薬学	269	2,817,400	
基盤研究 (B)	総合領域	701	3,073,700
	複合新領域	361	1,751,300
	人文学	461	1,549,500
	社会科学	670	2,195,000
	数物系科学	589	2,412,900
	化学	364	1,805,300
	工学	1,395	6,325,800
	生物学	307	1,532,300
	農学	653	3,013,200
医歯薬学	1,999	8,889,800	
基盤研究 (C)	総合領域	1,341	1,809,300
	複合新領域	437	613,000
	人文学	1,271	1,245,800
	社会科学	1,554	1,585,900
	数物系科学	1,183	1,374,100
	化学	415	605,300
	工学	1,749	2,323,100
	生物学	457	662,500
	農学	706	943,400
医歯薬学	5,081	7,097,000	
時限付き	136	229,500	
基盤研究 (S)	総合領域	18	346,400
	複合新領域	10	215,900
	人文学	7	100,300
	社会科学	4	51,500
	数物系科学	26	495,400
	化学	16	326,600
	工学	49	1,033,500
	生物学	16	342,300
	農学	15	323,900
医歯薬学	37	744,100	
萌芽研究	総合領域	338	479,200
	複合新領域	152	260,000
	人文学	119	120,400
	社会科学	205	209,800
	数物系科学	205	258,600
	化学	170	271,200
	工学	553	815,300
	生物学	138	217,200
	農学	240	356,100
医歯薬学	1,126	1,619,600	
特別研究員奨励費	全体	4,965	4,919,450

注 特別研究員奨励費の  
2重登録3件を除く

## ・科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性化度：総合・新領域系編

### 1. 概要

新しい総合・新領域系は、旧研究コードの部：複合領域および広領域を整理し、ここに新たな分科等を追加している。「分野」としては、総合領域、複合新領域の2分野からなる。分野：総合領域は、旧研究コードの部：複合領域の分科：情報科学、神経科学、実験動物学、文化財科学、地理学と、科学教育・教科教育学、医用生体工学・生体材料科学の一部から構成され、分野：複合新領域は、旧複合領域の環境科学を中心に、ナノ・マイクロ科学など新しい分野を編入している。これらの「分野」は、それぞれ10分科、8分科に分割されている。新しい「細目表」を表2-1に示す。

2002年度(平成14年度)からの継続研究課題について旧細目番号と新細目番号の両者を調べ、「分科」レベルでの移行の状況について 章で述べたが、ここでは、系：総合・新領域系について図2-1に示す。 章と同様に、旧研究コードの「分科」、新研究コードの「分科」は、それぞれの「部」または「分野」全体を100としたときの割合を併せて示してある。

この図から、旧研究コードの部：複合領域および広領域から、分野：総合領域と複合新領域に、それぞれ分割されて移行していることがわかる。このことから、「分科」レベルでの再編統合がなされていることが明らかである。また、その他の旧研究コードの「部」からも、少数ではあるが幅広く統合されている様子がみてとれる。

表 2 - 1 平成 15 年度科学研究費補助金 系・分野・分科・細目表（総合・新領域系）

系	分野	分科	細目	細目番号
総合・新領域系	総合領域	情報学	情報学基礎	1001
			ソフトウェア	1002
			計算機システム・ネットワーク	1003
			メディア情報学・データベース	1004
			知能情報学	1005
			知識情報処理 知能ロボティクス	1006
			感性情報学 ソフトコンピューティング	1007
			情報図書館学・人文社会情報学	1008
			認知科学	1009
			統計科学	1010
			生体生命情報学	1011
		神経科学	神経科学一般	1101
			神経解剖学 神経病理学	1102
			神経化学 神経薬理学	1103
			神経 筋肉生理学	1104
		実験動物学	実験動物学	1201
		人間医工学	医用生体工学 生体材料学	1301
			医用システム	1302
			リハビリテーション科学 福祉工学	1303
		健康・スポーツ科学	身体教育学	1401
			スポーツ科学	1402
	応用健康科学		1403	
	生活科学	生活科学一般	1501	
		食生活学	1502	
	科学教育 教育工学	科学教育	1601	
		教育工学	1602	
	科学社会学 科学技術史	科学社会学 科学技術史	1701	
	文化財科学	文化財科学	1801	
	地理学	地理学	1901	
	複合新領域	環境学	環境動態解析	2001
			環境影響評価 環境政策	2002
			放射線 化学物質影響科学	2003
			環境技術 環境材料	2004
		ナノ・マイクロ科学	ナノ構造科学	2101
			ナノ材料 ナノバイオサイエンス	2102
			マイクロ・ナノデバイス	2103
		社会 安全システム科学	社会システム工学 安全システム	2201
			自然災害科学	2202
		ゲノム科学	基礎ゲノム科学	2301
			応用ゲノム科学	2302
		生物分子科学	生物分子科学	2401
		資源保全学	資源保全学	2501
地域研究		地域研究	2601	
ジェンダー		ジェンダー	2701	

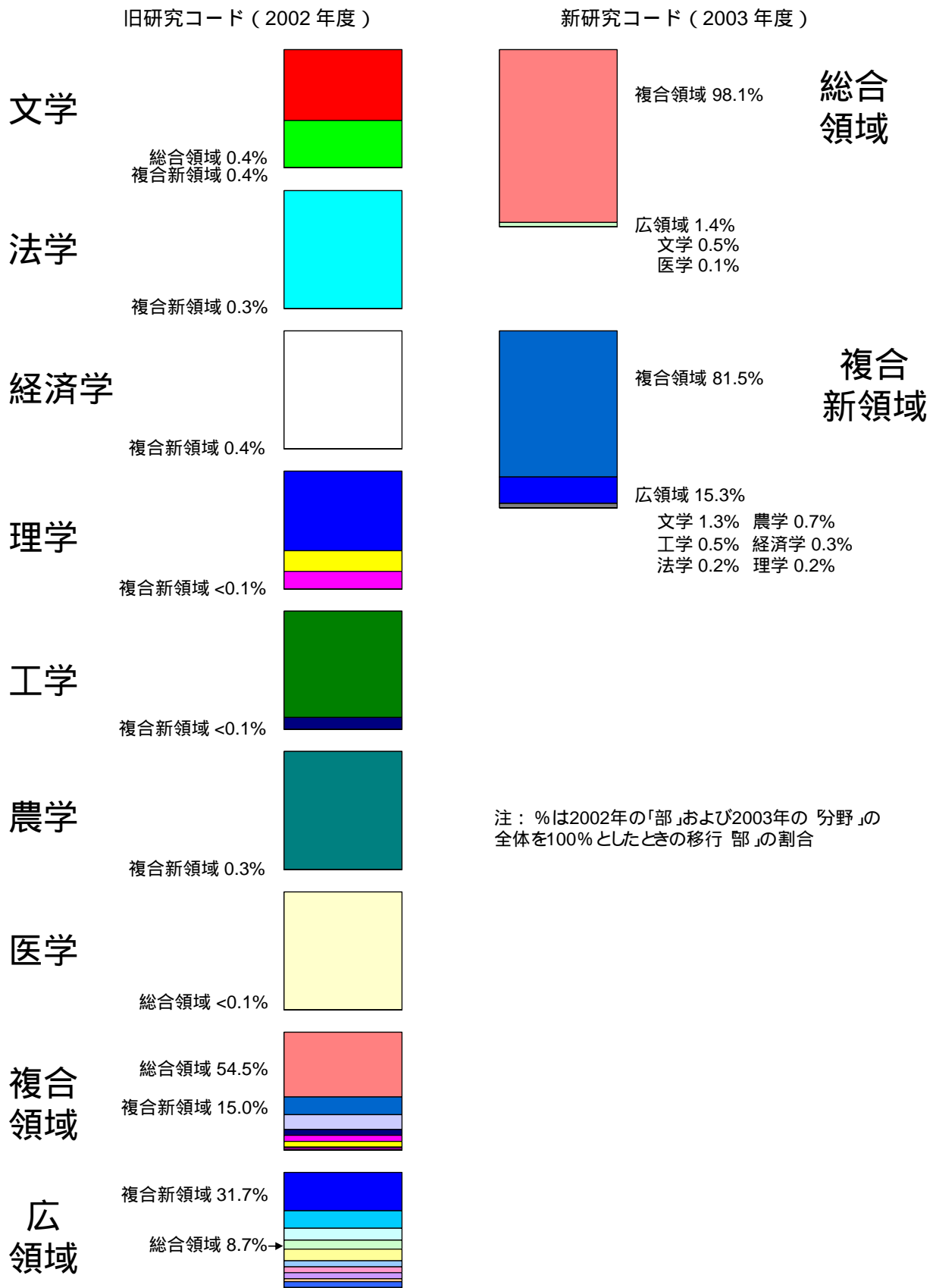


図2 - 1 2003年度継続採択研究課題の2002年度からの移行の状況（総合・新領域系）

「総合・新領域系」全体での機関別採択研究課題数を表 2 - 2 に、その棒グラフを図 2 - 2 に示す。

全体の傾向は、1998 年度（平成 10 年度）～2002 年度（平成 14 年度）の 5 年間の総採択研究課題数による旧研究コードの部：複合領域の順位とあまり変わっていない。目立つことは、北陸先端科学技術大学院大学が 27 位から 18 位に躍進していることくらいである。この系が幅広い学問分野を含むために、系全体では機関別の研究の特徴が現れにくく、大規模総合大学、すなわち旧帝国大学が上位を占めているものと思われる。また、新しい系：総合・複合新領域系のランキングでは核融合科学研究所の名前が消えているが、これは、エネルギー関係の研究分野が旧研究コードの部：複合領域から新研究コードでは系：理工系の分野：工学の分科：総合工学に移動したことによる。



表2 - 2 総合・新領域系採択研究課題数上位50位(2003年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	251	1,147,700
2	国	京都大学	175	736,800
3	国	大阪大学	169	766,800
4	国	筑波大学	166	464,600
5	国	東北大学	143	550,400
6	国	北海道大学	117	484,800
7	国	東京工業大学	115	411,700
8	国	九州大学	97	363,600
9	国	名古屋大学	94	320,000
10	国	広島大学	92	201,400
11	私	慶應義塾大学	63	149,700
12	私	早稲田大学	61	141,900
13	他	理化学研究所	60	191,900
14	国	神戸大学	58	199,800
15	国	金沢大学	51	174,100
16	国	静岡大学	48	105,800
17	国	奈良先端科学技術大	47	129,500
18	国	北陸先端科学技術大	44	123,300
19	国	岡山大学	43	124,600
19	国	九州工業大学	43	80,400
19	国	電気通信大学	43	66,600
22	国	信州大学	42	85,600
23	国	徳島大学	40	130,800
24	国	千葉大学	39	108,100
24	国	新潟大学	39	89,900
24	国	群馬大学	39	76,300
27	国研	岡崎国立共同研究機構	34	165,900
27	国	鹿児島大学	34	101,800
29	国研	国立情報学研究所	33	111,400
29	公	東京都立大学	33	108,800
29	他	産業技術総合研究所	33	108,500
32	国	熊本大学	32	120,600
32	国	東京医科歯科大学	32	116,800
32	公	大阪府立大学	32	76,100
35	国	長崎大学	31	66,600
36	私	立命館大学	29	69,900
37	国	名古屋工業大学	28	80,600
38	公	大阪市立大学	27	90,000
38	私	東京女子医科大学	27	51,300
38	短	筑波技術短期大学	27	41,100
41	国	愛媛大学	26	91,400
41	国	東京農工大学	26	79,100
41	私	東海大学	26	55,400
44	国研	統計数理研究所	25	65,500
44	国	奈良女子大学	25	64,500
46	国	豊橋技術科学大学	24	68,800
46	国	三重大学	24	52,500
46	国	山口大学	24	35,300
49	国	お茶の水女子大学	23	54,100
49	私	日本大学	23	48,700
49	国	岐阜大学	23	48,000
		合計	4,907	13,685,300

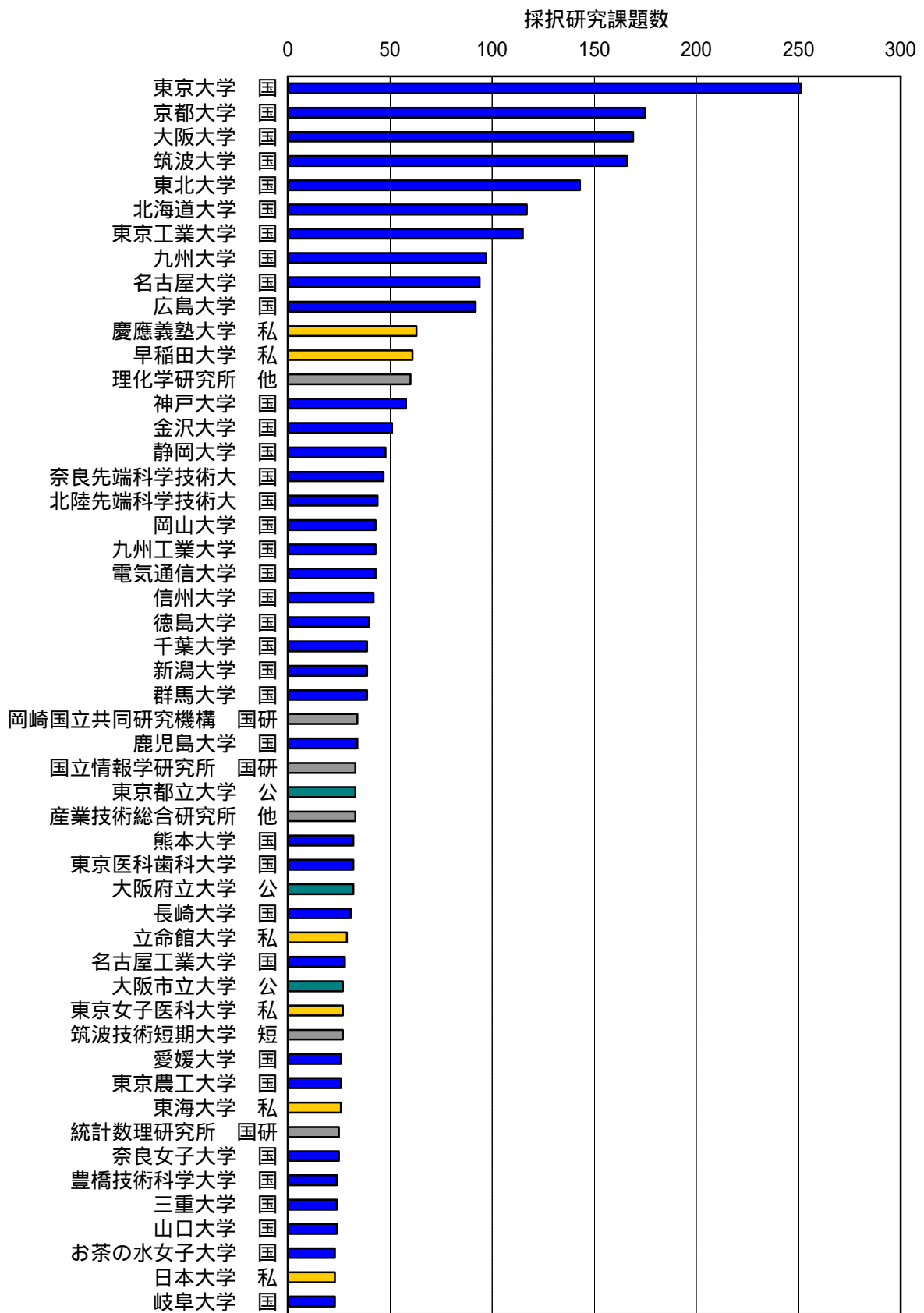


図 2 - 2 総合・新領域系採択研究課題数上位 50 位 (2003 年度)

この「総合・新領域系」を構成している分野：総合領域、複合新領域の分野別採択研究課題数の分布を円グラフとして図2 - 3に示す。総合領域が71.9%、複合新領域が28.1%である。図から明らかなように、総合領域が全体の大部分を占め、全体の3/4近くである。これは、旧研究コードの部：複合領域の主要部分が、総合領域に移行したことによる。

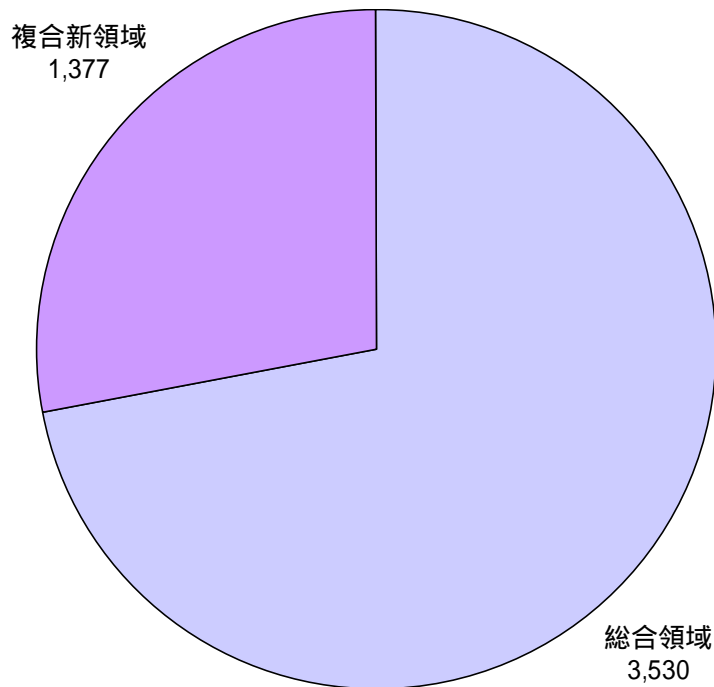


図2 - 3 総合・新領域系「分野」別採択研究課題数（2003年度）

「総合・新領域系」の分野ごとに、採択研究課題数を機関別に整理したものの上位50位を表2 - 3に、棒グラフを図2 - 4 - 1～2 - 4 - 2にそれぞれ示す。

分野：総合領域では、採択研究課題数が系全体の3/4を占めることから、系全体とほぼ同じ傾向である。これに対して、分野：複合新領域では、分科：環境学が編入されたこともあり、国立環境研究所が11位に、国立極地研究所が22位に姿を見せている。

冒頭、「はじめに」でも述べたが、2003年度の科学研究費補助金の申請にあたって、前年度に採択された継続課題については予め申請すべき新研究コードにおける「系・分野・分科・細目」が指示された。この新研究コードがどのように研究者に認識されたかを見るために、2003年度の採択研究課題について、新研究コードにより申請・新規に採択された研究課題数と前年度からの継続研究課題数の割合をそれぞれの「分野」について分類・解析することとした。「総合・新領域系」の各分野の新規研究課題数と継続研究課題数を機関別に整理したものを図2 - 5 - 1～2 - 5 - 2にそれぞれ示す。このとき、掲載順は、総採択研究課題数順、すなわち図2 - 4 - 1～2 - 4 - 2と同じ順序とした。分野：総合領域について新規・継続の合計では機関別順位に大きな変化はみられない。分野：複合新領域では、ナノ・マイクロ科学、ゲノム科学、ジェンダー等の新しい分野が「分科」としてあらたに作られたことにより、新規採択研究課題数によって順位が決まっているようである。

表2-3 総合・新領域系「分野」別採択研究課題数上位50位(2003年度)

金額単位/千円

総合領域					複合新領域				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	166	691,900	1	国	東京大学	85	455,800
2	国	筑波大学	129	380,700	2	国	京都大学	80	336,700
3	国	大阪大学	119	487,600	3	国	東北大学	56	300,000
4	国	京都大学	95	400,100	4	国	大阪大学	50	279,200
5	国	東北大学	87	250,400	5	国	北海道大学	47	240,100
6	国	北海道大学	70	244,700	5	国	東京工業大学	47	213,300
7	国	九州大学	69	236,700	7	国	広島大学	37	106,000
8	国	東京工業大学	68	198,400	7	国	筑波大学	37	83,900
9	国	名古屋大学	62	202,500	9	国	名古屋大学	32	117,500
10	国	広島大学	55	95,400	10	国	九州大学	28	126,900
11	私	早稲田大学	48	125,200	11	他	国立環境研究所	20	44,000
12	私	慶應義塾大学	47	103,300	12	公	大阪府立大学	19	50,200
13	国	神戸大学	42	137,000	13	他	理化学研究所	18	61,900
13	他	理化学研究所	42	130,000	14	国	金沢大学	17	73,000
13	国	奈良先端科学技術大学院大学	42	117,600	15	国	千葉大学	16	68,700
16	国	北陸先端科学技術大学院大学	40	88,300	15	国	神戸大学	16	62,800
17	国	九州工業大学	39	74,000	15	国	岡山大学	16	54,000
18	国	電気通信大学	37	57,000	15	私	慶應義塾大学	16	46,400
19	国	金沢大学	34	101,100	19	国	愛媛大学	15	64,700
19	国	静岡大学	34	74,500	19	国	長崎大学	15	41,400
19	国	信州大学	34	68,400	21	国	静岡大学	14	31,300
22	国研	国立情報学研究所	33	111,400	22	国研	国立極地研究所	13	66,300
23	国	新潟大学	31	66,000	22	公	静岡県立大学	13	25,000
24	国	徳島大学	30	71,100	22	私	早稲田大学	13	16,700
24	国	群馬大学	30	65,300	25	他	(独)産業技術総合研究所	12	60,400
26	国	東京医科歯科大学	29	102,500	25	国	東京農工大学	12	55,700
27	国研	岡崎国立共同研究機構	28	123,900	25	国	熊本大学	12	50,500
28	国	岡山大学	27	70,600	28	私	立命館大学	11	28,100
28	短	筑波技術短期大学	27	41,100	29	国	徳島大学	10	59,700
30	私	東京女子医科大学	26	50,300	29	公	東京都立大学	10	49,000
31	国	鹿児島大学	24	74,600	29	国	鹿児島大学	10	27,200
31	国	奈良女子大学	24	63,500	32	国	岐阜大学	9	26,700
33	国研	統計数理研究所	23	63,200	32	私	東京理科大学	9	13,000
33	公	東京都立大学	23	59,800	32	国	群馬大学	9	11,000
33	国	千葉大学	23	39,400	35	国	三重大学	8	28,800
36	他	(財)東京都医学研究機構	22	68,300	35	国	新潟大学	8	23,900
37	国	豊橋技術科学大学	21	50,900	35	国	名古屋工業大学	8	18,900
37	他	(独)産業技術総合研究所	21	48,100	35	国	信州大学	8	17,200
37	私	東海大学	21	43,500	35	国	富山大学	8	15,200
40	国	熊本大学	20	70,100	35	私	日本大学	8	14,800
40	公	大阪市立大学	20	65,200	41	公	大阪市立大学	7	24,800
40	国	名古屋工業大学	20	61,700	41	他	放射線医学総合研究所	7	22,000
40	国	お茶の水女子大学	20	42,400	41	私	近畿大学	7	10,500
40	国	山口大学	20	25,600	44	国研	岡崎国立共同研究機構	6	42,000
45	公	広島市立大学	19	31,700	44	国	島根大学	6	35,800
46	私	立命館大学	18	41,800	44	国	琉球大学	6	31,800
46	国	山梨大学	18	35,000	44	国	埼玉大学	6	27,400
48	国	宇都宮大学	17	33,600	44	公	姫路工業大学	6	18,800
49	国研	メディア教育開発センター	16	59,400	44	国	一橋大学	6	16,100
49	国	長崎大学	16	25,200	44	国	宮崎大学	6	10,600
49	国	三重大学	16	23,700	44	国	電気通信大学	6	9,600
		合計	3,530	8,872,400			合計	1,377	4,812,900

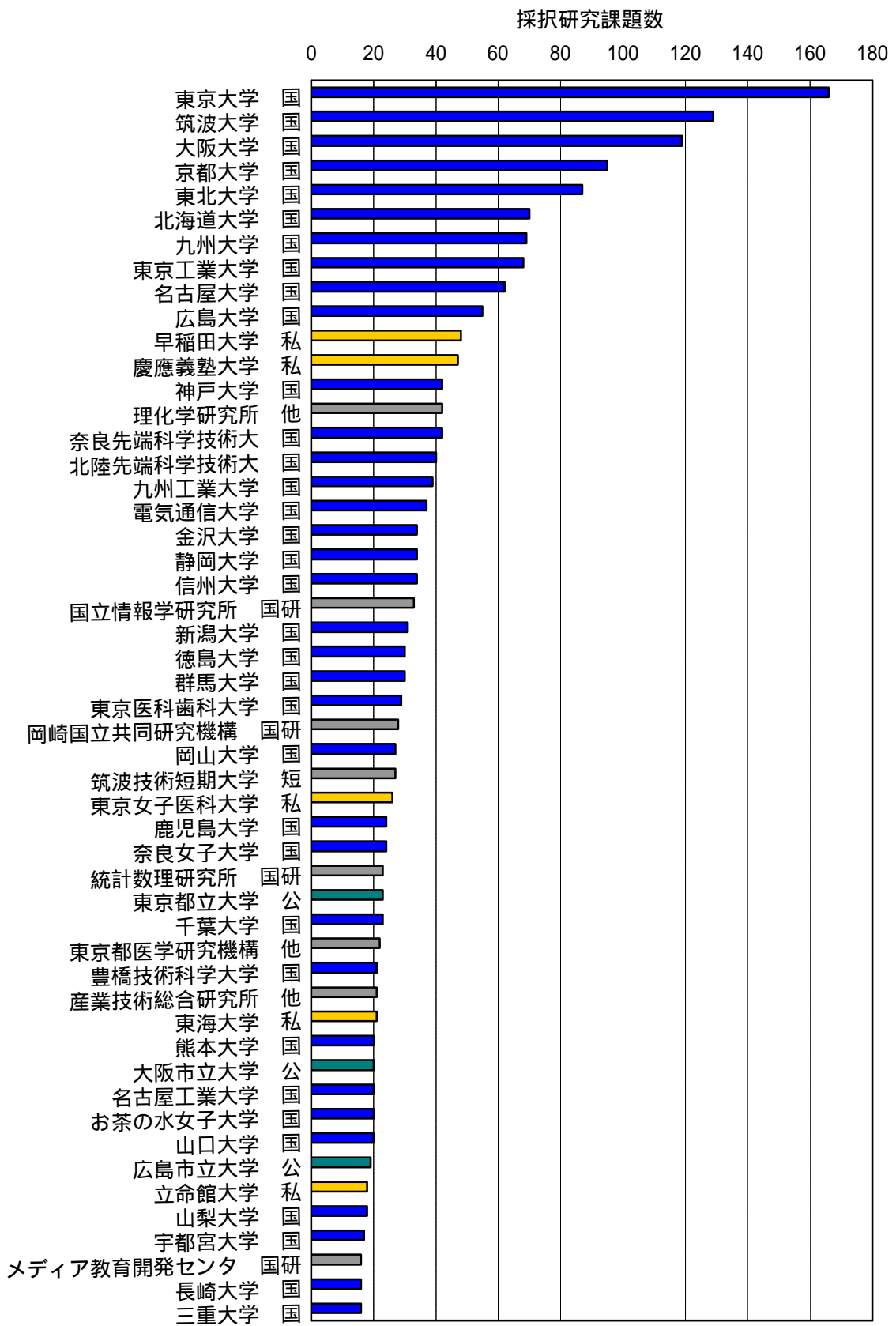


図 2 - 4 - 1 総合領域採択研究課題数上位 50 位 (2003 年度)

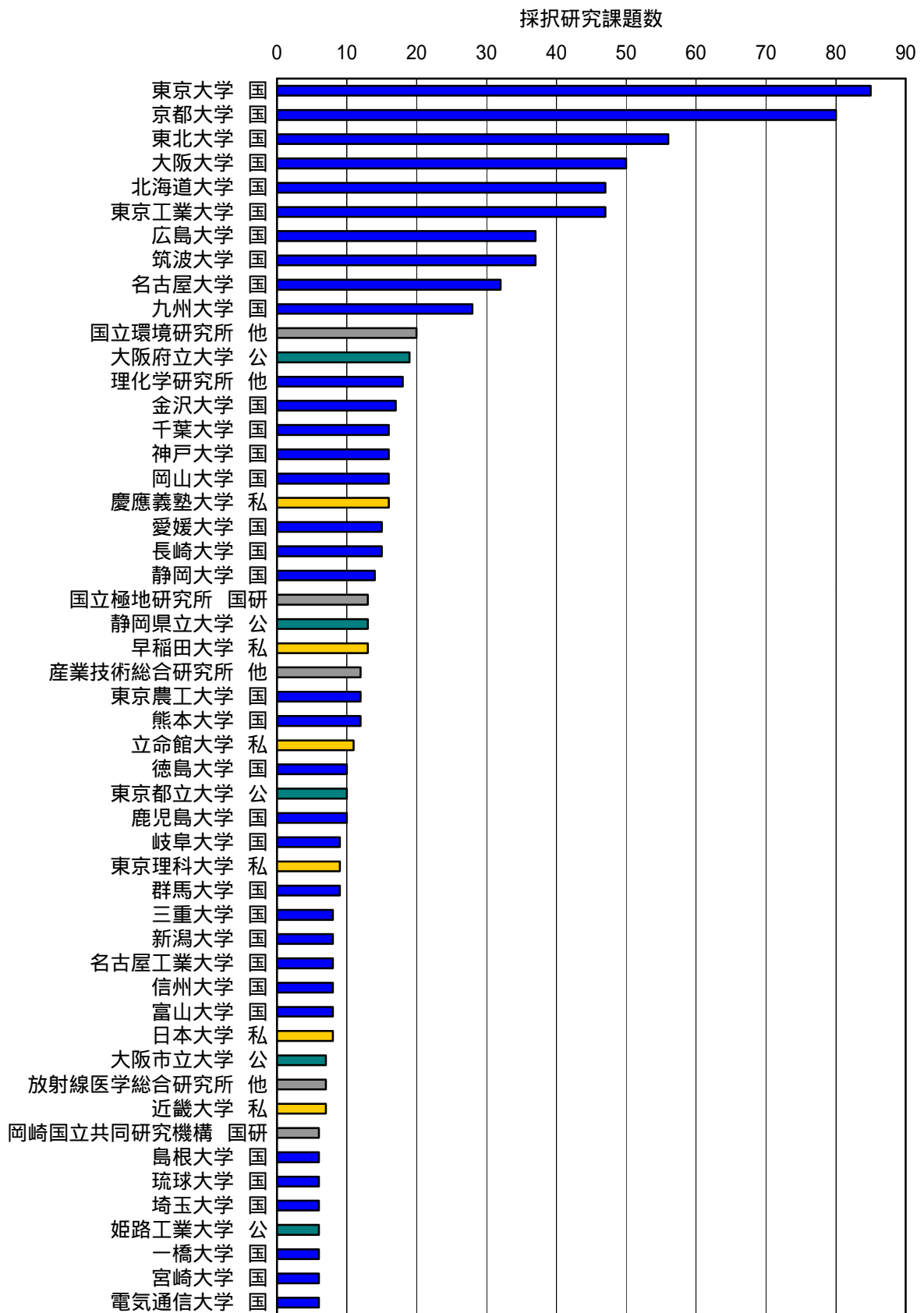


図 2 - 4 - 2 複合新領域採択研究課題数上位 50 位 (2003 年度)

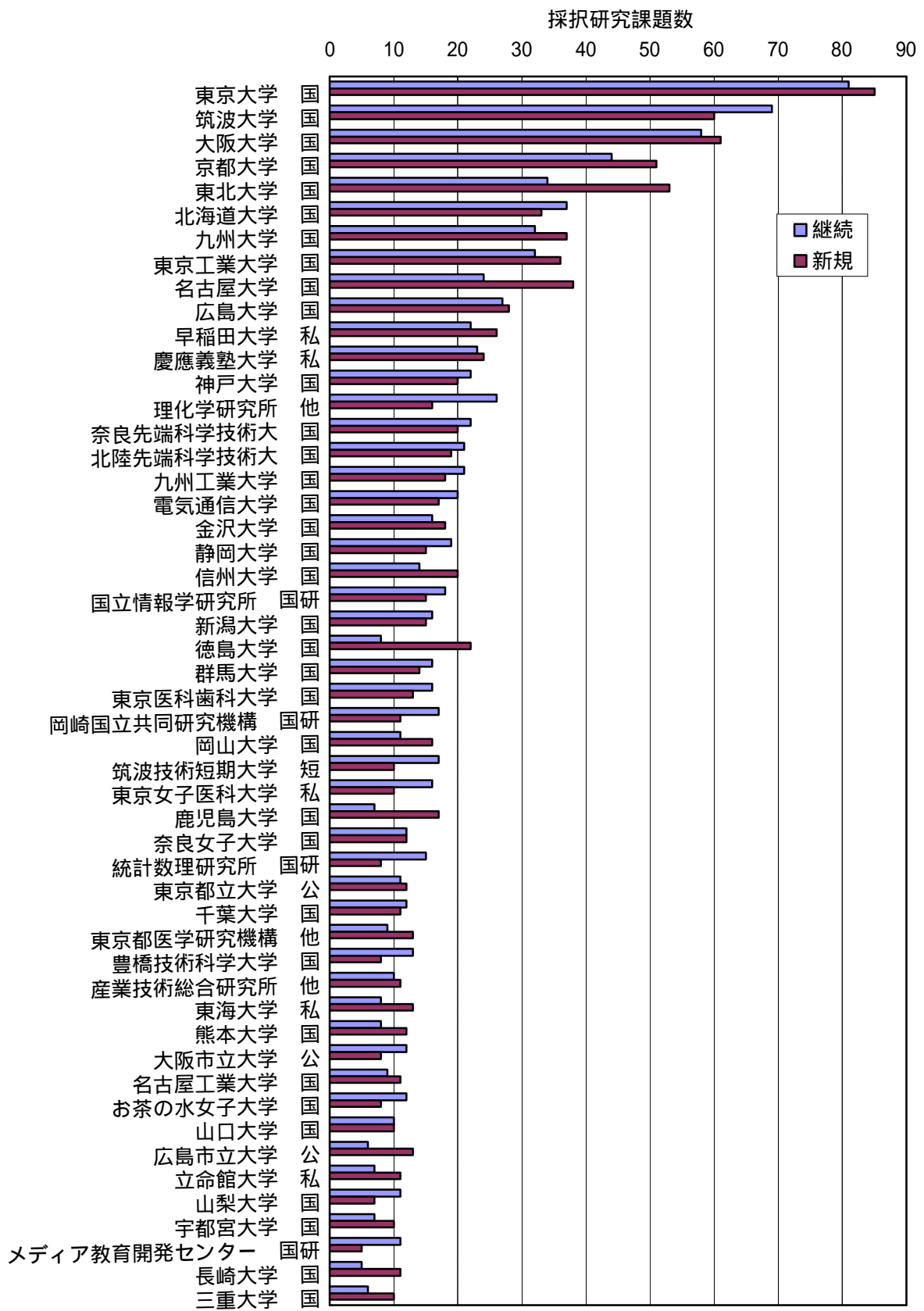


図2 - 5 - 1 総合領域の新規研究課題数および継続研究課題数 (2003年度)

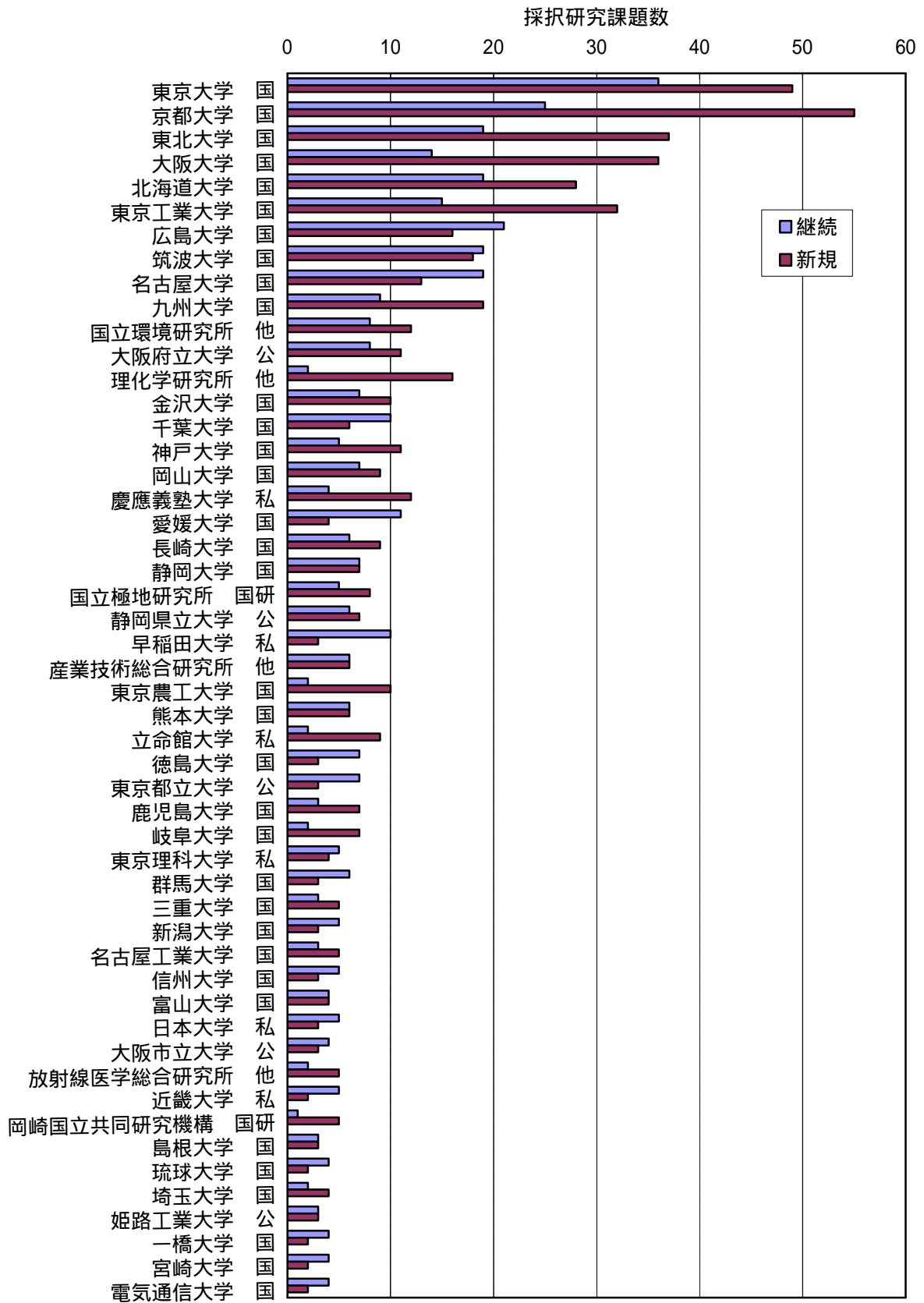


図2 - 5 - 2 複合新領域の新規研究課題数および継続研究課題数 (2003年度)



## 2 . 分野別

### 2 - 1 総合領域

分野：総合領域は、旧研究コードの部：複合領域の大半の「分科」・「細目」を含んでいる。除かれているのは、新研究コードの分野：複合新領域に含まれる旧研究コードの分科：環境科学、分野：工学に含まれる分科：エネルギー学、分野：生物に含まれる分科：生物化学、基礎生物学などである。総合領域の中の情報学、神経科学、実験動物学、人間医工学、健康・スポーツ科学、生活科学、科学教育・教育工学、科学社会学・科学技術史、文化財科学、地理学の「分科」ごとの科学研究費補助金採択研究課題数を図2 - 6の円グラフに示す。この各「分科」の採択研究課題数の割合は、情報学 33.2%、神経科学 12.9%、実験動物学 2.4%、人間医工学 13.8%、健康・スポーツ科学 11.2%、生活科学 8.5%、科学教育・教育工学 12.3%、科学社会学・科学技術史 1.2%、文化財科学 1.7%、地理学 2.6%となっている。

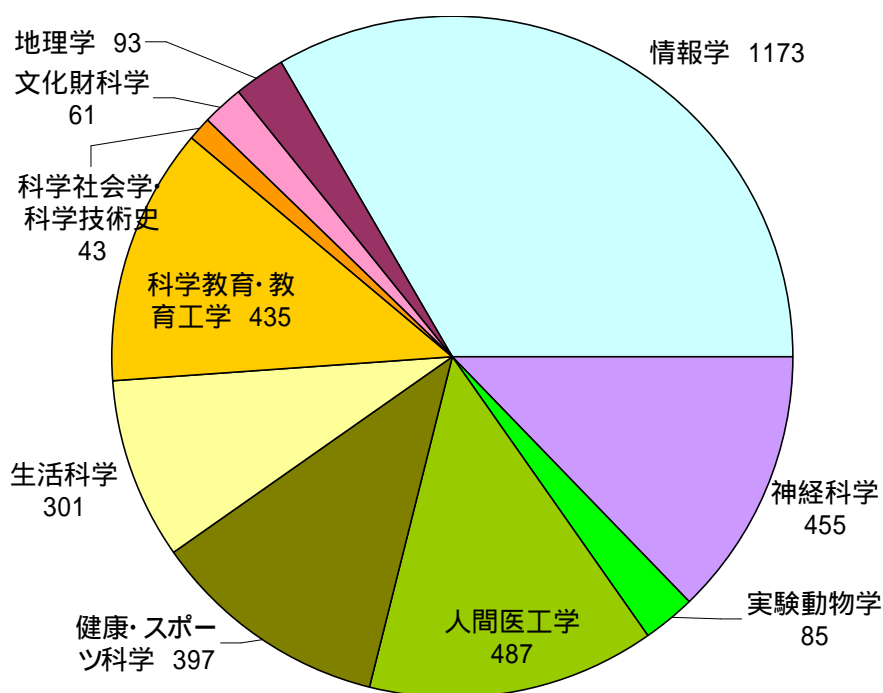


図2 - 6 総合領域「分科」別採択研究課題数（2003年度）

分科：情報学が全体の約 1/3 を占め、旧研究コードの分科：医用生体工学・生体材料工学に細目：医用システム、リハビリテーション科学・福祉工学が新たに加わった分科：人間医工学、分科：神経科学が、旧研究コードの分科：体育学を拡張した分科：健康・スポーツ科学の順に続く。旧研究コードの分科：家政学から「分科」および「細目」名が書き換えられた分科：生活科学もかなりの分野を占めている。残りの4「分科」は、実験動物学、社会科学・科学技術史、文化財学、地理学は細目レベルである。「細目表」の変更による継続研究課題の旧研究コードから新研究コードへの移行の状況について「分科」別に「細目」レベルで示したものが、表2 - 4である。ただし、表2 - 4では、2002年度（平成14年度）からの継続研究課題数が新「細目」で10件以下のものを省略している。

表 2 - 4 総合領域の継続研究課題における主な旧研究コードの細目

2003 年度	継続研究課題の 2002 年度での主な旧研究コードの細目
情報学	部：複合領域，分科：統計科学 721，分科：情報科学全細目
神経科学	部：複合領域，分科：神経科学(含脳科学)全細目
実験動物学	部：複合領域，分科：実験動物学
人間医工学	部：複合領域，分科：医用生体工学・生体材料学
健康・スポーツ科学	部：複合領域，分科：体育学
生活科学	部：複合領域、分科：家政学全細目
科学教育・教育工学	部：複合領域，分科：科学教育・教科教育学，細目：科学教育 711、教育工学 712
科学社会学・科学技術史	部：複合領域，分科：科学技術史(含科学社会学・科学技術基礎論)
文化財科学	部：複合領域，分科：文化財科学
地理学	部：複合領域，分科：地理学，細目：自然地理学 705

以下、情報学、神経科学、実験動物学、人間医工学、健康・スポーツ科学、生活科学、科学教育・教育工学、科学社会学・科学技術史、文化財科学、地理学の各「分科」について、I 章で述べた方針にしたがって上位 30 位までを表にまとめ、表 2 - 5 - 1 ~ 2 - 5 - 4 に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図 2 - 7 - 1 ~ 2 - 7 - 6 に示す。ただし、分科：実験動物学、科学社会学・科学技術史、文化財科学、地理学は採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

また、「分科」別に 2002 年度（平成 14 年度）からの継続研究課題数と新規研究課題数を機関別に示す棒グラフも、図 2 - 8 - 1 ~ 2 - 8 - 6 に掲載した。このとき、掲載順は、総採択研究課題数順、すなわち図 2 - 7 - 1 ~ 2 - 7 - 6 と同じ順序とした。

分科：情報学では、筑波大学が 2 位に、北陸先端科学技術大学院大学が 8 位に、国立情報学研究所（旧：学術情報センター）が 9 位に位置しているのが目立つ。また、分科：神経科学でも、理化学研究所、国立岡崎共同研究機構などが上位に位置している。分科：実験動物学では、全体の数は少ないものの実験動物中央研究所がトップにくるなど、それぞれの分野の特徴がよく見えるようになってきている。

分科：健康・スポーツ科学では、筑波大学が 1 位に、鹿屋体育大学が 4 位に、分科：生活科学では奈良女子大学、お茶の水女子大学が 1 位、2 位を占めている。分科：科学教育・教育工学では国立教育政策研究所（旧：国立教育研究所）、メディア教育開発センターが 1 位、2 位を占め、分科：文化財科学では数は少ないものの各種の文化財研究所が出てくる。

このように、分野：総合領域は旧複合領域よりかなりすっきりとそれぞれの分野での特徴が現れているといえよう。

表2 - 5 - 1 総合領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2003年度)(1)

金額単位/千円

情報学					神経科学					実験動物学				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	69	298,100	1	国	東京大学	30	129,800	1	民研	(財)実験動物中央研究所	8	28,400
2	国	筑波大学	57	146,300	2	他	理化学研究所	29	83,100	2	国	京都大学	5	33,800
3	国	大阪大学	53	176,600	3	国研	岡崎国立共同研究機構	28	123,900	2	国	熊本大学	5	25,000
4	国	京都大学	45	163,500	4	国	大阪大学	24	112,400	4	他	理化学研究所	4	24,200
5	国	東京工業大学	41	105,400	5	他	(財)東京都医学研究機構	19	56,700	4	国	大阪大学	4	15,700
6	国	九州大学	37	121,800	6	国	京都大学	15	60,500	4	私	順天堂大学	4	13,000
6	国	東北大学	37	87,200	6	国	東北大学	15	26,700	4	国	北海道大学	4	10,800
8	国	北陸先端科学技術大学院大学	36	80,400	8	国	群馬大学	14	41,000	4	国	東京大学	4	7,300
9	国研	国立情報学研究所	33	111,400	9	国	金沢大学	13	51,200	9	国	滋賀医科大学	3	12,000
10	国	九州工業大学	30	57,900	9	国	東京医科歯科大学	13	48,500	9	国	信州大学	3	7,000
11	国	北海道大学	29	107,500	11	国	神戸大学	11	66,100	9	国	長崎大学	3	7,000
11	国	奈良先端科学技術大学院大学	29	71,100	11	国	新潟大学	11	38,500	12	他	(財)東京都医学研究機構	2	11,100
11	国	電気通信大学	29	38,400	11	私	慶應義塾大学	11	24,300	12	国	筑波大学	2	8,000
14	国	名古屋大学	24	86,300	14	国	九州大学	8	30,100	12	国	金沢大学	2	6,600
15	国研	統計数理研究所	22	58,100	14	私	藤田保健衛生大学	8	18,600	12	国	徳島大学	2	4,100
16	私	早稲田大学	20	48,000	14	国	筑波大学	8	13,200	12	民研	(財)癌研究会	2	3,200
17	私	慶應義塾大学	19	42,400	17	国	熊本大学	7	22,800	12	国	名古屋大学	2	2,000
18	国	豊橋技術科学大学	17	37,600	17	国	富山医科薬科大学	7	12,400					
19	国	静岡大学	16	34,700	19	国	北海道大学	6	22,800					
19	公	広島市立大学	16	26,800	19	公	横浜市立大学	6	15,500					
21	国	広島大学	14	22,200	19	国	滋賀医科大学	6	11,300					
22	国	名古屋工業大学	13	31,500	22	他	(独)産業技術総合研究所	5	18,400					
22	国	岡山大学	13	21,200	22	国	奈良先端科学技術大学院大学	5	17,100					
24	私	立命館大学	12	26,400	22	公	京都府立医科大学	5	10,300					
24	国	神戸大学	12	20,200	22	他	国立精神・神経センター	5	9,100					
26	国	和歌山大学	11	29,300	26	国	名古屋大学	4	20,200					
26	国	山梨大学	11	15,700	26	民研	(財)大阪バイオサイエンス研究所	4	15,100					
26	公	会津大学	11	13,800	26	国	高知医科大学	4	7,200					
29	国	徳島大学	10	26,400	26	私	東京慈恵会医科大学	4	7,000					
29	国	宇都宮大学	10	21,600	26	公	札幌医科大学	4	5,700					
29	国	信州大学	10	21,100	26	私	久留米大学	4	5,100					
29	他	(独)産業技術総合研究所	10	16,800	26	私	日本医科大学	4	4,200					
29	国	群馬大学	10	15,500										
29	国	新潟大学	10	11,500										
合計			1,173	2,823,300	合計			455	1,384,900	合計			85	275,500

注：採択研究課題数1件の機関名は省略。

表2 - 5 - 2 総合領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2003年度)(2)

金額単位/千円

人間医工学					健康・スポーツ科学					生活科学				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	30	148,300	1	国	筑波大学	41	141,600	1	国	奈良女子大学	18	53,500
2	国	東北大学	26	117,400	2	国	東京大学	17	44,700	2	国	お茶の水女子大学	13	28,800
3	国	大阪大学	25	133,900	3	私	早稲田大学	10	27,000	3	公	大阪市立大学	12	51,300
4	私	東京女子医科大学	23	44,600	3	国	鹿屋体育大学	10	21,800	4	私	日本女子大学	8	13,300
5	国	北海道大学	19	70,100	5	国	神戸大学	9	22,100	4	私	大妻女子大学	8	9,700
6	国	京都大学	15	94,600	6	国	東京工業大学	8	15,300	4	私	中村学園大学	8	9,500
7	私	慶應義塾大学	14	32,200	6	国	広島大学	8	13,200	7	公	岡山県立大学	6	8,100
8	国	東京医科歯科大学	13	48,400	8	国	大阪大学	7	24,300	7	公	山口県立大学	6	7,800
9	国	名古屋大学	11	40,300	9	私	福岡大学	6	18,200	9	国	東京学芸大学	5	13,200
10	国	九州大学	10	66,900	9	国	名古屋大学	6	9,900	9	私	昭和女子大学	5	4,300
10	国	鹿児島大学	10	41,300	11	公	東京都立大学	5	21,400	11	国	横浜国立大学	4	20,400
12	私	東海大学	8	14,500	11	国	京都大学	5	14,100	11	国	大阪教育大学	4	9,500
12	国	広島大学	8	14,000	11	国	金沢大学	5	12,600	11	私	福山女学園大学	4	7,100
12	私	北里大学	8	10,300	11	国	東北大学	5	12,300	11	国	広島大学	4	6,800
15	国	筑波大学	7	37,700	11	他	国立スポーツ科学センター	5	9,800	11	国	岐阜大学	4	6,000
15	国	岡山大学	7	34,900	11	国	奈良女子大学	5	9,300	11	公	静岡県立大学	4	5,600
15	私	川崎医科大学	7	28,100	11	国	徳島大学	5	8,700	11	私	金城学院大学	4	4,800
15	国	奈良先端科学技術大学院大学	7	27,500	11	国	三重大学	5	8,500	11	公	京都府立大学	4	4,700
15	他	国立循環器病センター研究所	7	25,100	11	私	大阪体育大学	5	6,400	11	国	滋賀大学	4	4,500
15	国	信州大学	7	14,800	11	国	九州大学	5	4,500	20	国	三重大学	3	6,200
21	国	東京工業大学	6	45,500	21	私	順天堂大学	4	8,000	20	国	兵庫教育大学	3	4,800
21	私	関西大学	6	26,800	21	国	静岡大学	4	6,900	20	国	奈良教育大学	3	4,200
21	国	徳島大学	6	17,000	21	私	東海大学	4	5,600	20	短	県立新潟女子短期大学	3	3,500
21	短	筑波技術短期大学	6	11,600	21	他	(財)東京都老人総合研究所	4	5,100	20	短	武庫川女子大学短期大学部	3	3,300
25	国	金沢大学	5	18,700	21	私	日本女子体育大学	4	4,900	20	国	信州大学	3	2,800
25	私	東京電機大学	5	18,300	21	国	福岡教育大学	4	4,500	20	国	福島大学	3	2,500
25	他	理化学研究所	5	18,300	21	国	山口大学	4	4,400	20	公	滋賀県立大学	3	2,400
25	私	芝浦工業大学	5	7,500	21	国	奈良教育大学	4	3,600	20	私	武庫川女子大学	3	2,400
25	私	近畿大学	5	5,600	21	国	愛知教育大学	4	3,300	20	公	広島女子大学	3	2,300
30	他	(独)物質・材料研究機構	4	9,500	30	私	杏林大学	3	14,500	20	私	東京家政学院大学	3	2,300
30	他	(独)産業技術総合研究所	4	8,400	30	国	北海道大学	3	13,300					
30	国	新潟大学	4	5,600	30	国	鹿児島大学	3	12,400					
30	私	自治医科大学	4	5,100	30	私	日本体育大学	3	10,600					
30	短	川崎医療短期大学	4	3,600	30	国	名古屋工業大学	3	5,700					
					30	国	兵庫教育大学	3	4,600					
					30	他	国立健康・栄養研究所	3	4,400					
					30	国	長崎大学	3	3,600					
					30	短	筑波技術短期大学	3	1,500					
合計			487	1,607,600	合計			397	798,800	合計			301	547,300

表2 - 5 - 3 総合領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2003年度)(3)

金額単位/千円

科学教育・教育工学					科学社会学 科学技術史				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国研	国立教育政策研究所	15	67,900	1	国	東京工業大学	4	8,200
2	国研	メディア教育開発センター	14	56,700	2	国	神戸大学	3	5,300
3	国	広島大学	13	24,500	2	国	東京大学	3	3,100
4	短	筑波技術短期大学	12	21,500	4	私	南山大学	2	2,900
5	国	静岡大学	11	26,400	4	私	東洋大学	2	2,500
5	私	早稲田大学	11	23,400	4	国	広島大学	2	2,200
7	国	東京工業大学	9	24,000	4	私	明治大学	2	1,800
8	国	筑波大学	8	17,100	4	国	京都大学	2	1,700
8	国	愛知教育大学	8	8,600	4	私	京都産業大学	2	1,600
10	国	名古屋大学	7	20,200					
10	国	信州大学	7	17,100					
10	国	東京学芸大学	7	14,200					
13	国	神戸大学	6	21,400					
13	私	金沢工業大学	6	14,100					
13	国	上越教育大学	6	6,800					
16	国	大阪大学	5	24,100					
16	国	東京大学	5	15,300					
16	国	北海道大学	5	13,300					
16	国	富山大学	5	12,100					
16	国	徳島大学	5	10,700					
16	国	福井大学	5	10,200					
16	国	千葉大学	5	9,700					
16	国	三重大学	5	6,100					
16	他	(独)大学入試センター	5	5,500					
25	他	(独)国立科学博物館	4	9,100					
25	国	岐阜大学	4	9,000					
25	国	東京農工大学	4	8,400					
25	国	九州工業大学	4	7,500					
25	国	埼玉大学	4	7,100					
25	国	宇都宮大学	4	5,900					
25	国	九州大学	4	5,500					
25	国	北海道教育大学	4	5,400					
25	国	滋賀大学	4	5,300					
25	国	京都教育大学	4	4,500					
25	国	兵庫教育大学	4	4,500					
合計			435	923,900	合計			43	67,500

表 2 - 5 - 4 総合領域「分科」別採択研究課題数上位 30 位 (2003 年度)(4)

金額単位/千円

文化財科学					地理学				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	他	(財)元興寺文化財研究所	7	12,800	1	公	東京都立大学	10	24,500
2	他	(独)文化財研究所東京文化財研究所	6	20,300	2	国	東京大学	7	41,900
3	国研	国立歴史民俗博物館	5	32,200	3	国	名古屋大学	6	19,600
4	国	京都大学	4	10,200	3	国	筑波大学	6	16,800
5	国	富山大学	2	12,100	5	国	広島大学	4	9,100
5	私	早稲田大学	2	11,400	6	私	日本大学	3	13,000
5	他	(独)文化財研究所奈良文化財研究所	2	7,900	6	私	中央大学	3	3,400
5	国	北海道大学	2	5,100	8	国	京都大学	2	12,300
5	私	京都造形芸術大学	2	4,000	8	私	立命館大学	2	7,900
					8	国	金沢大学	2	3,900
					8	私	慶應義塾大学	2	3,900
					8	国	上越教育大学	2	3,300
					8	国	千葉大学	2	2,400
					8	私	立正大学	2	1,800
					8	国	東北大学	2	1,600
					8	国	琉球大学	2	1,400
合計			61	206,600	合計			93	237,000

注：採択研究課題数 1 件の機関名は省略。

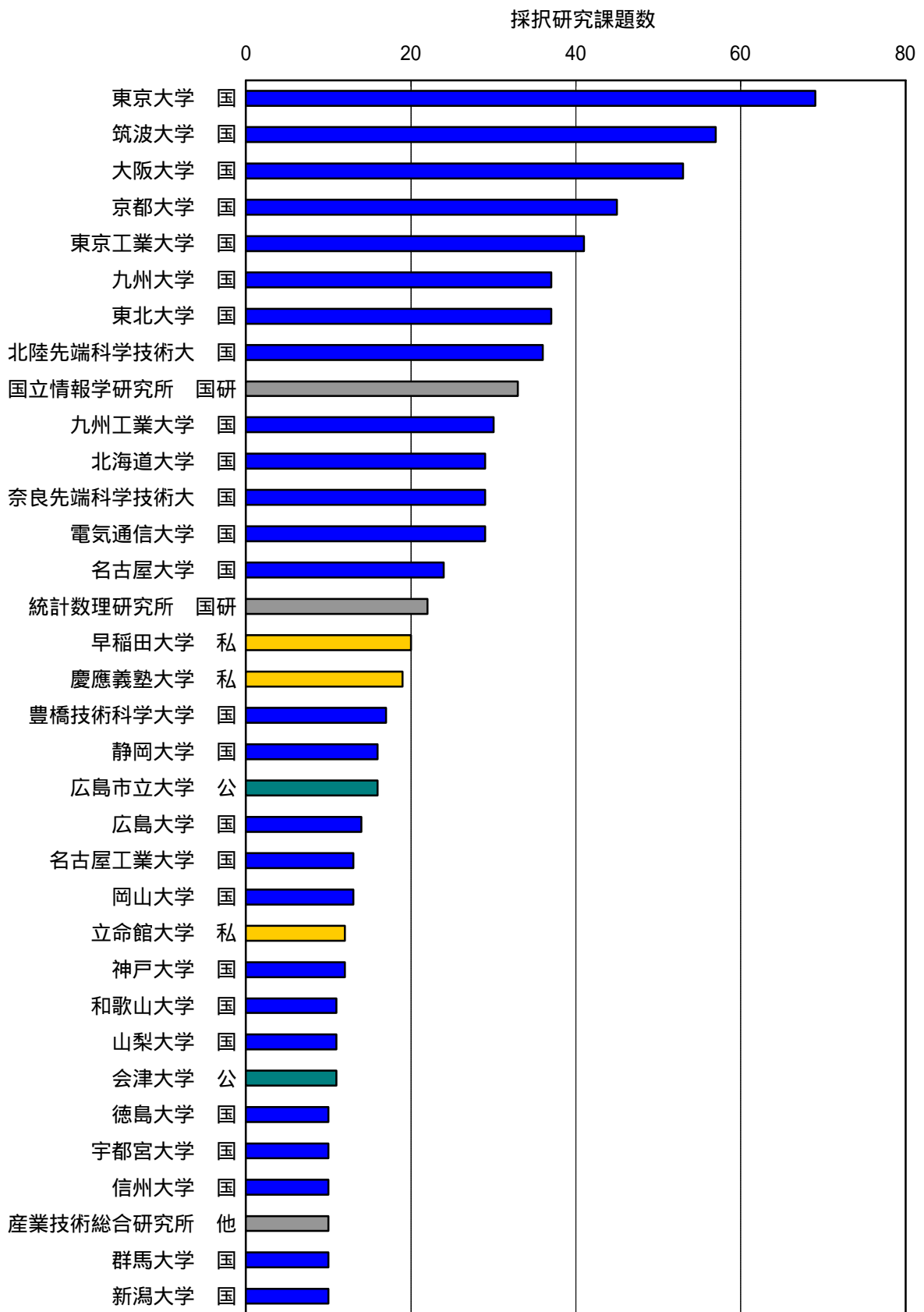


図2 - 7 - 1 情報学採択研究課題数上位30位(2003年度)



図 2 - 7 - 2 神経科学採択研究課題数上位 30 位 (2003 年度)



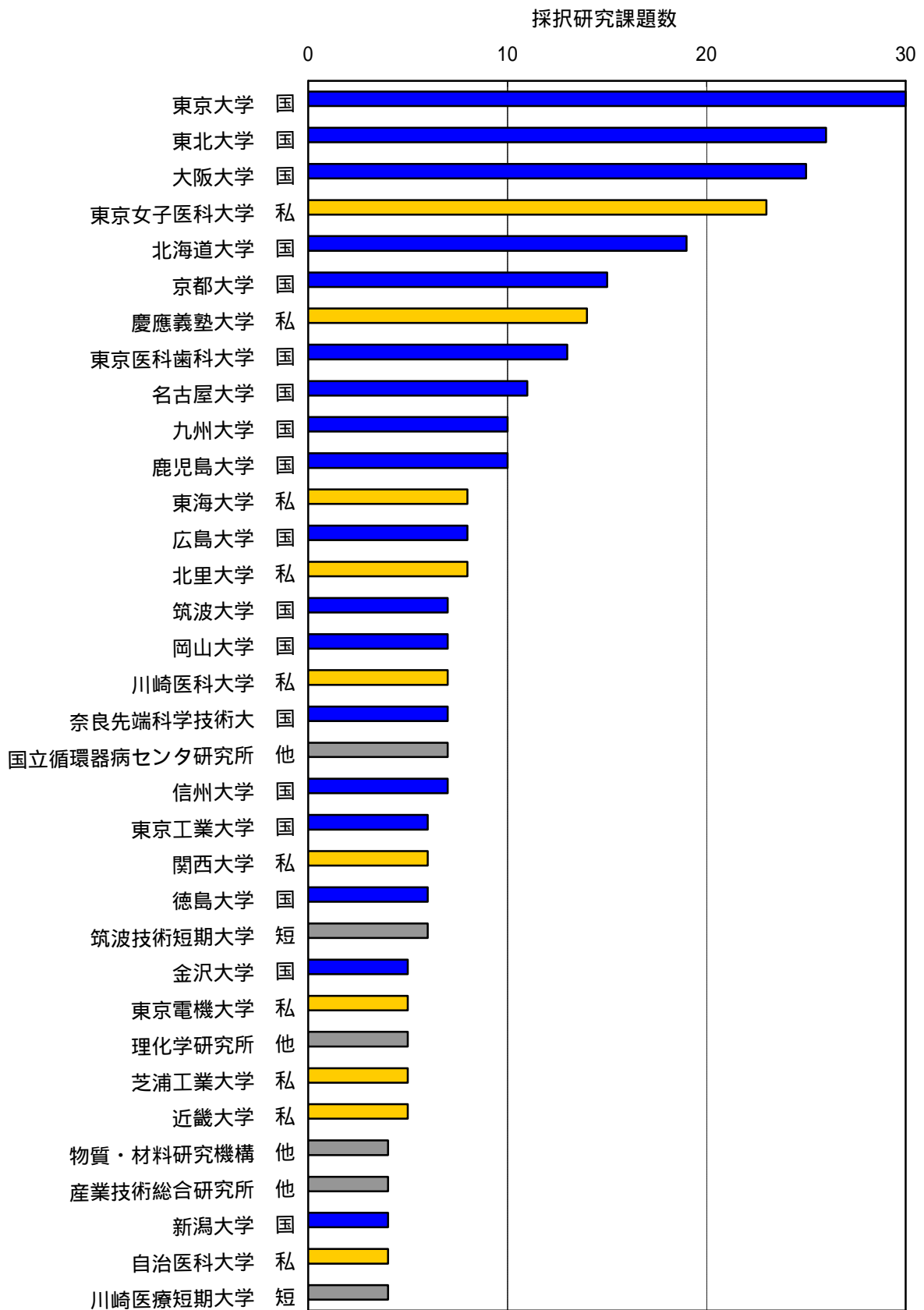


図 2 - 7 - 3 人間医工学採択研究課題数上位 30 位 (2003 年度)

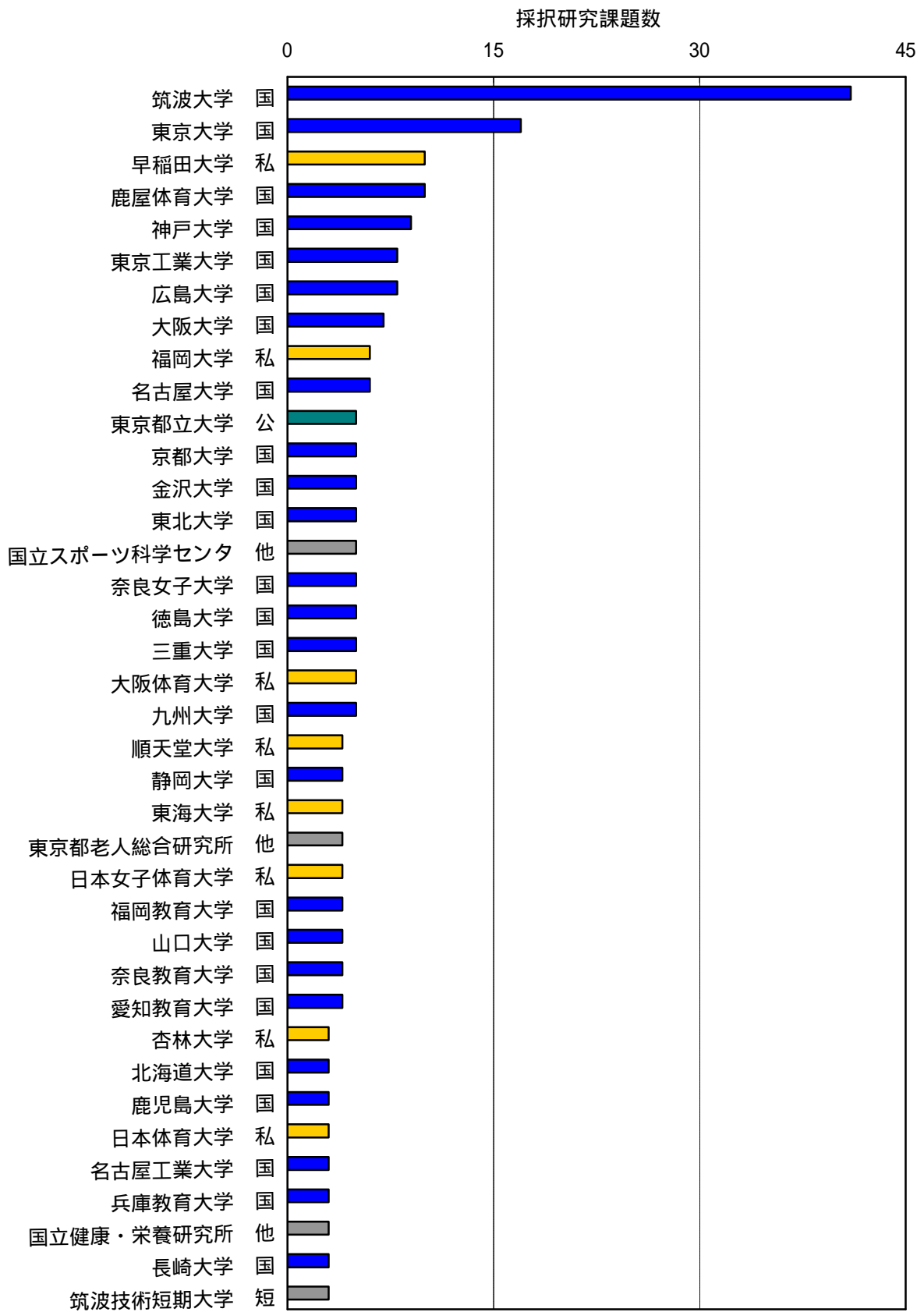


図2 - 7 - 4 健康・スポーツ科学採択研究課題数上位30位(2003年度)

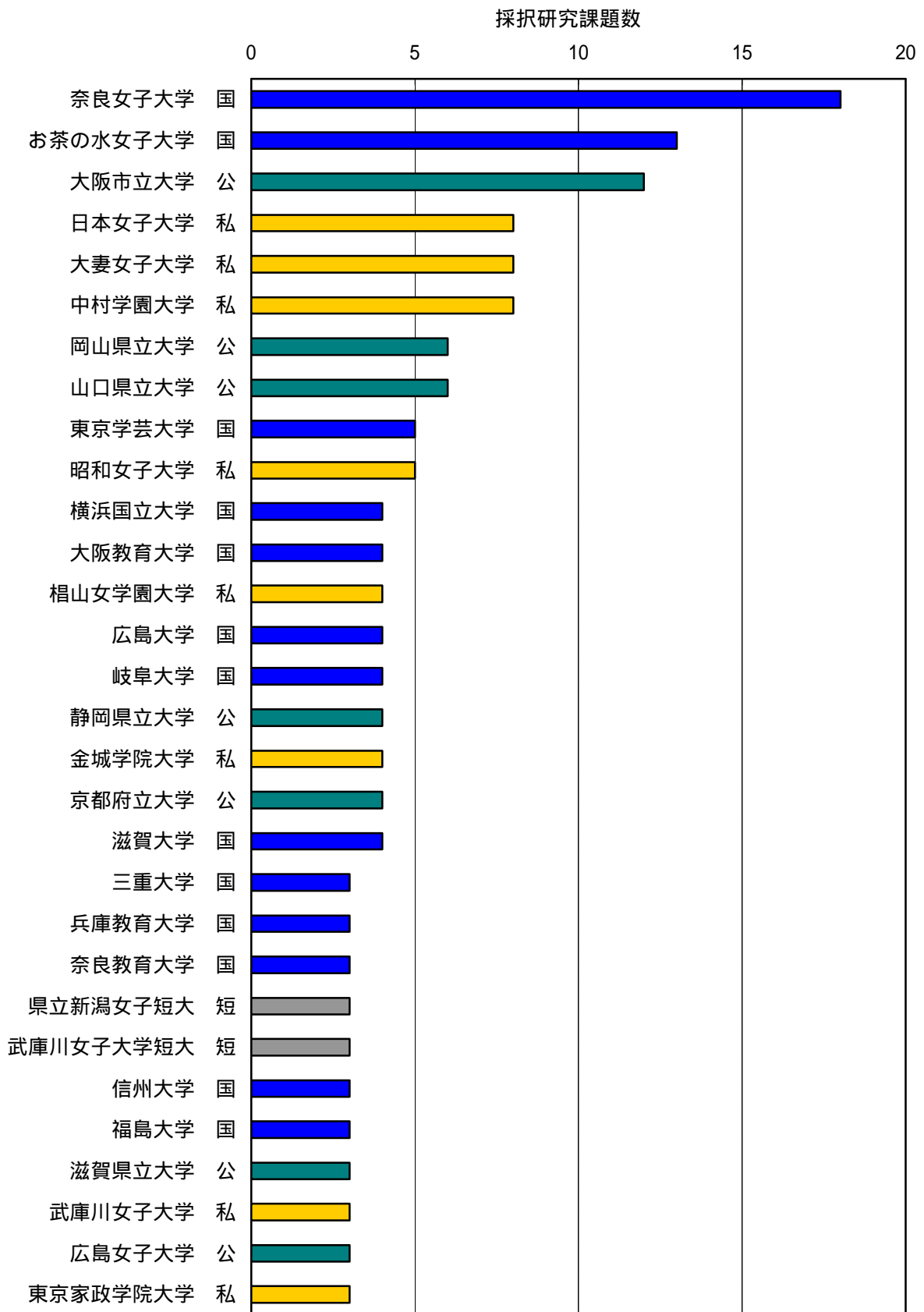


図2 - 7 - 5 生活科学採択研究課題数上位30位(2003年度)

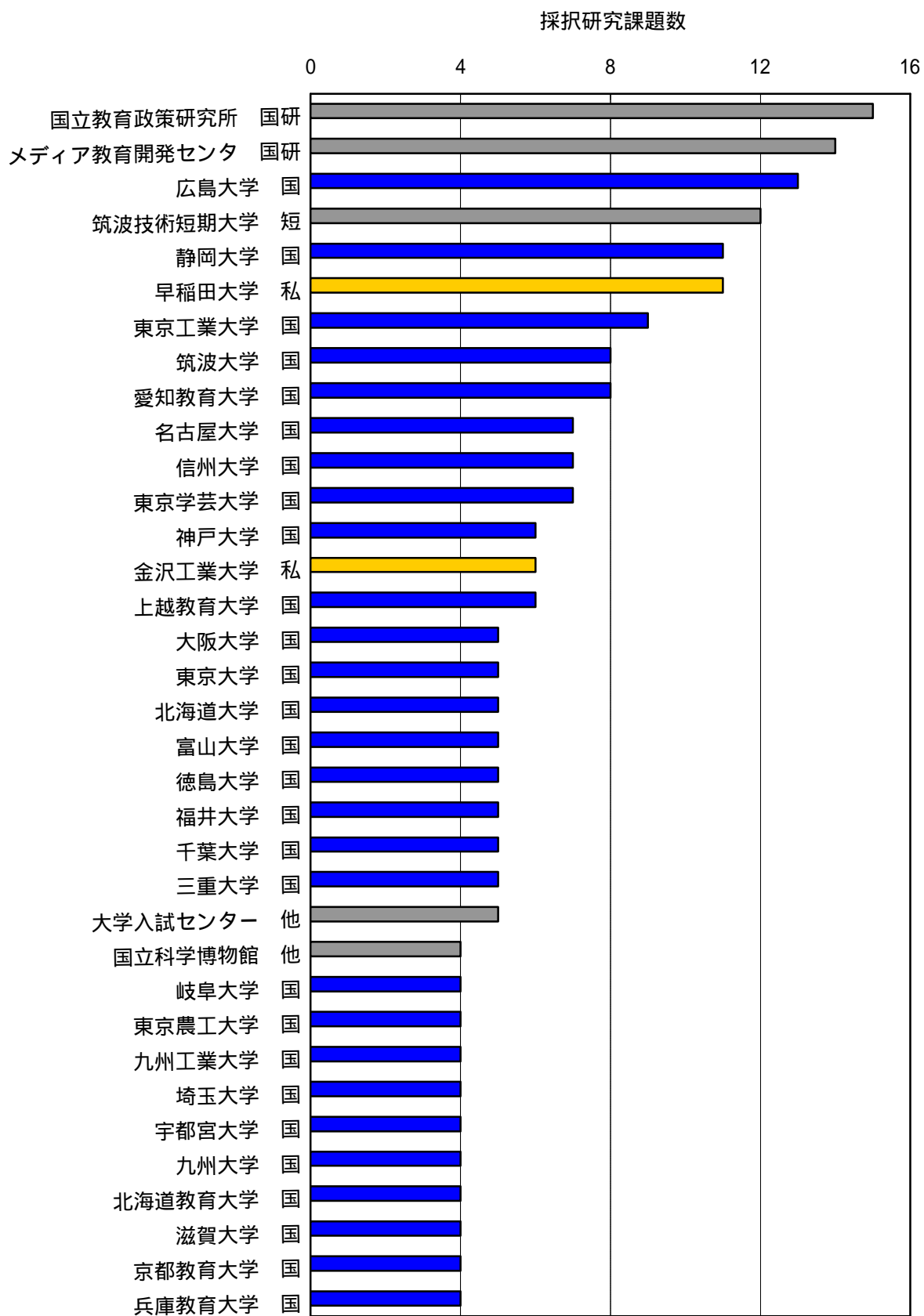


図2 - 7 - 6 科学教育・教育工学採択研究課題数上位30位(2003年度)

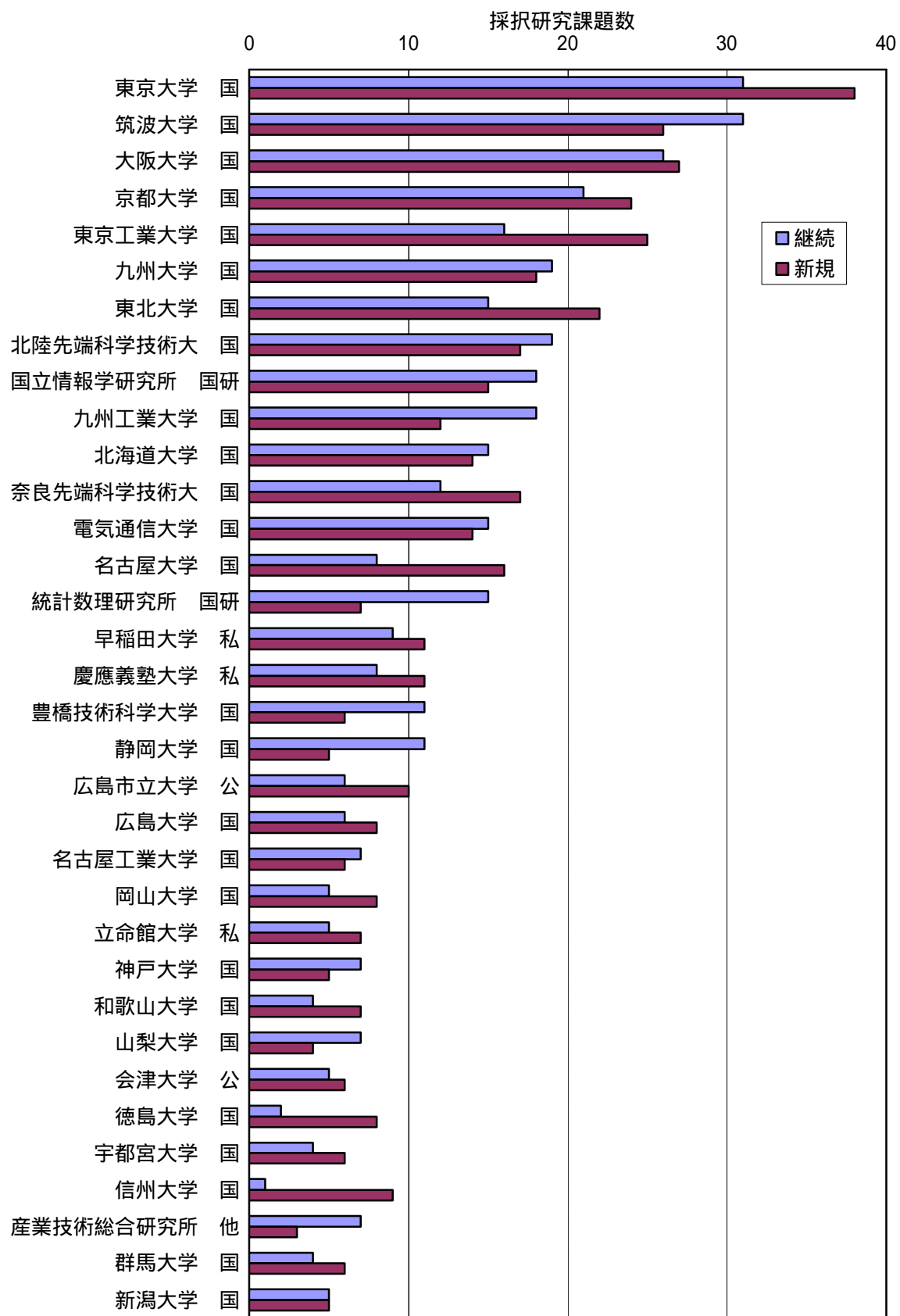


図 2 - 8 - 1 情報学の新規研究課題数および継続研究課題数 (2003 年度)

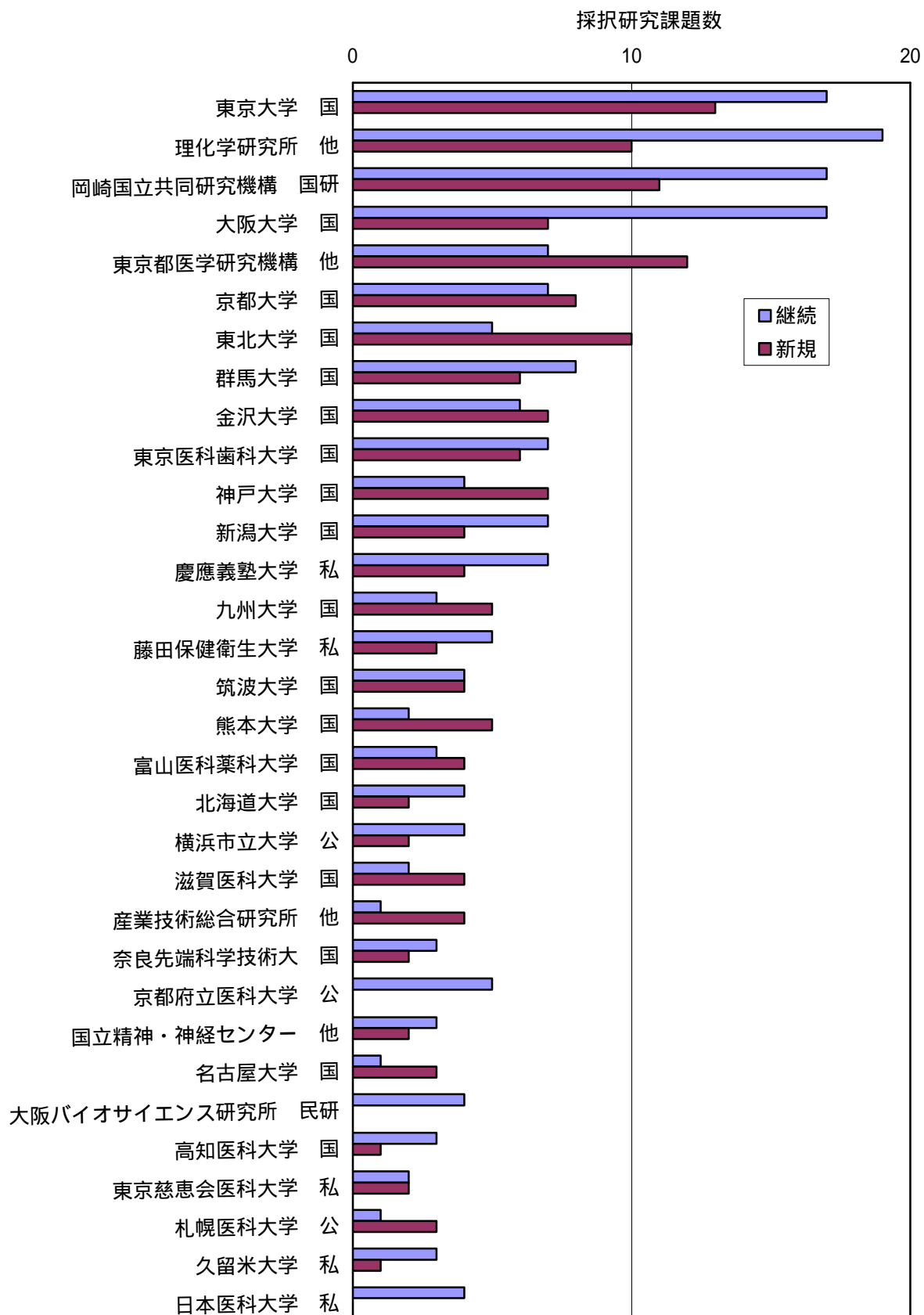


図 2 - 8 - 2 神経科学の新規研究課題数および継続研究課題数 (2003 年度)

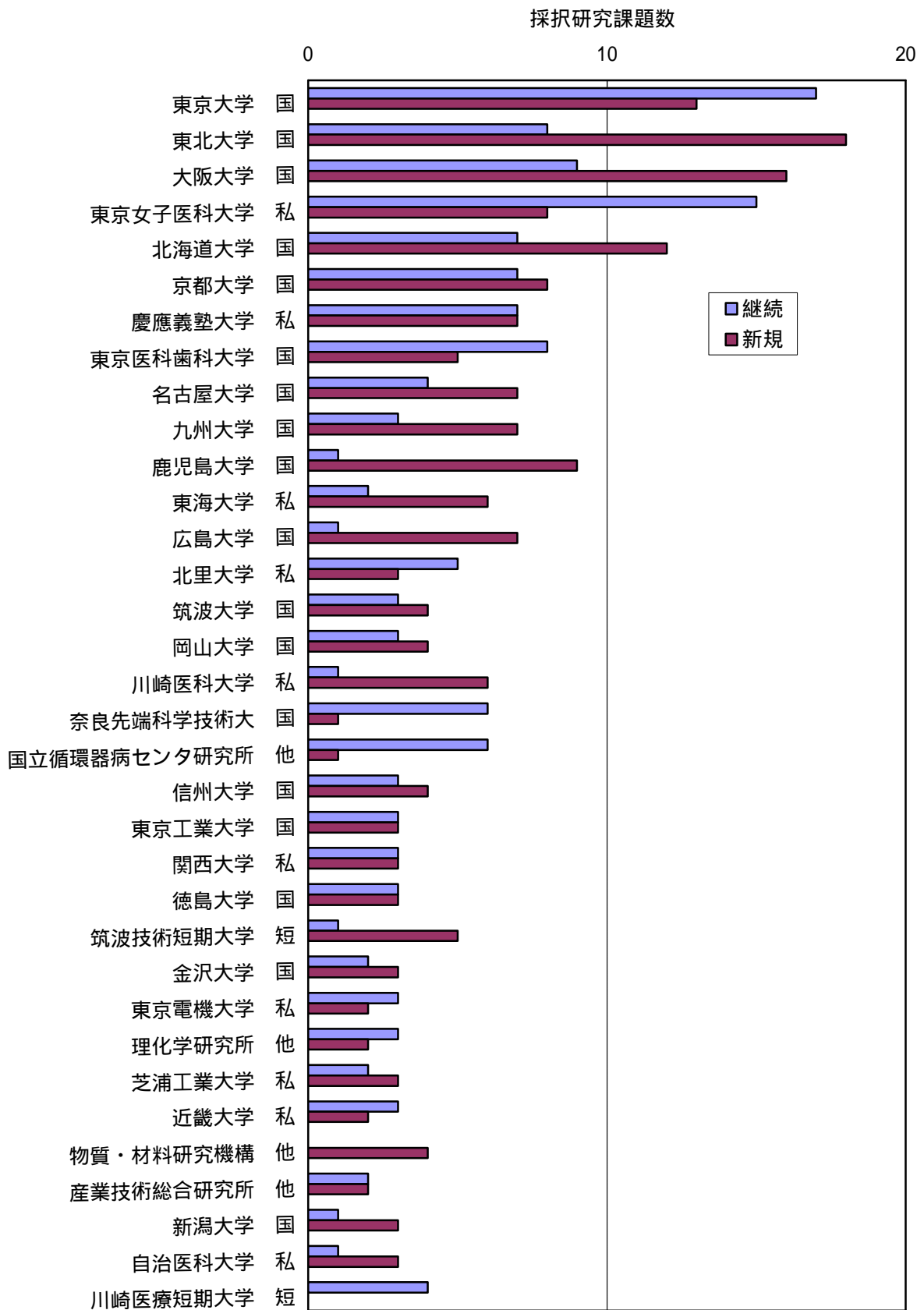


図2 - 8 - 3 人間医工学の新規研究課題数および継続研究課題数 (2003年度)

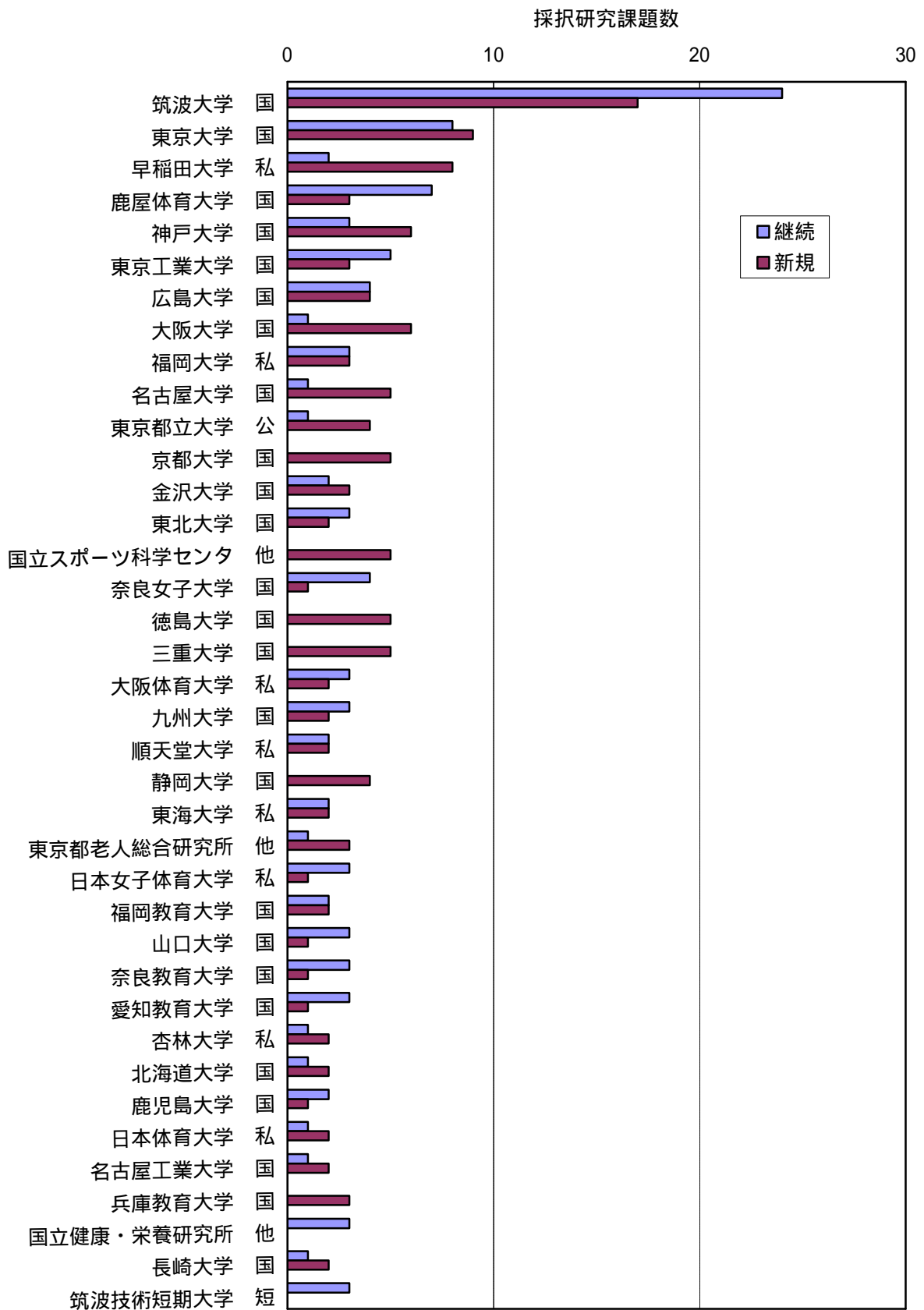


図 2 - 8 - 4 健康・スポーツ科学の新規研究課題数および継続研究課題数 (2003 年度)



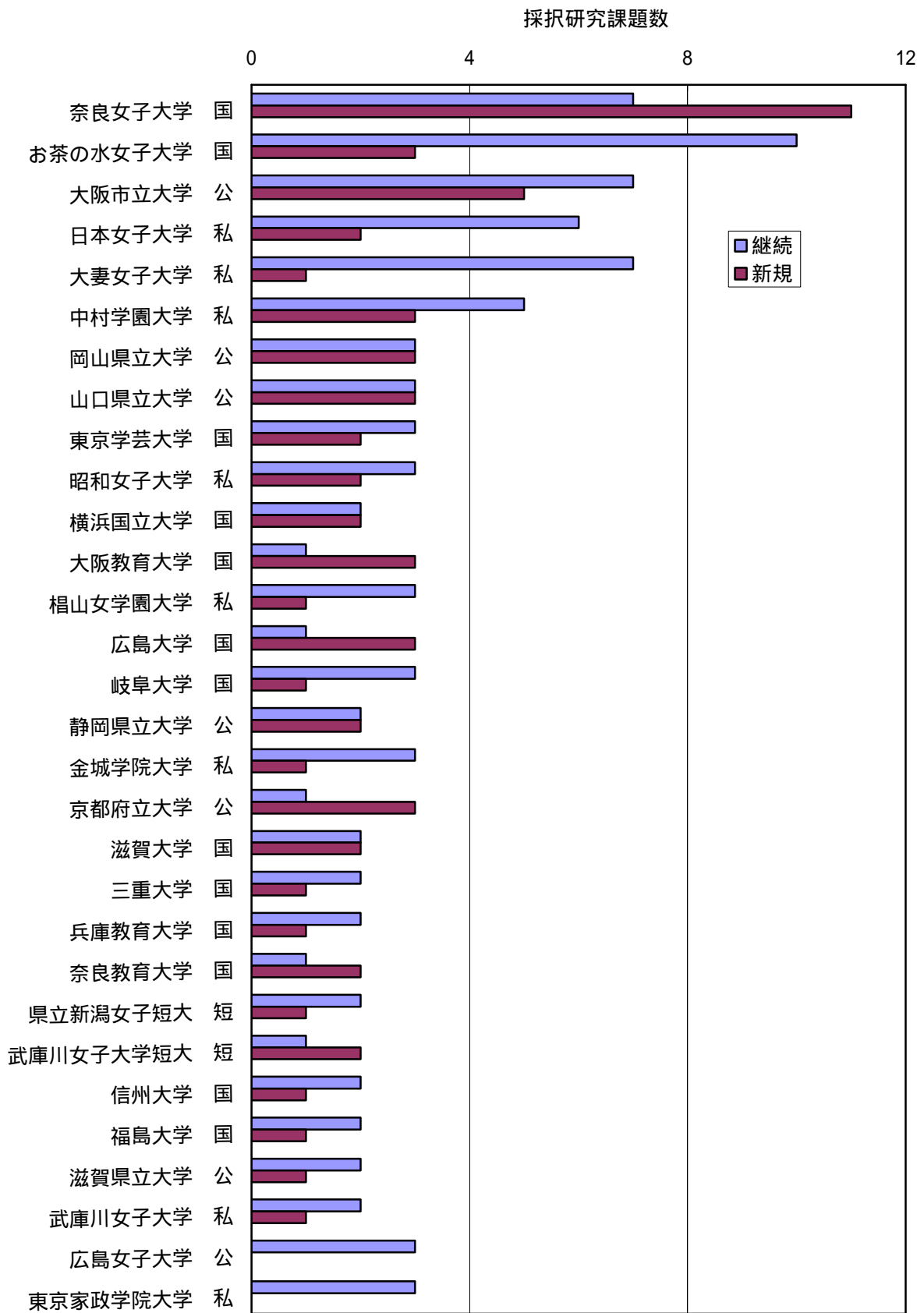


図 2 - 8 - 5 生活科学の新規研究課題数および継続研究課題数 (2003 年度)

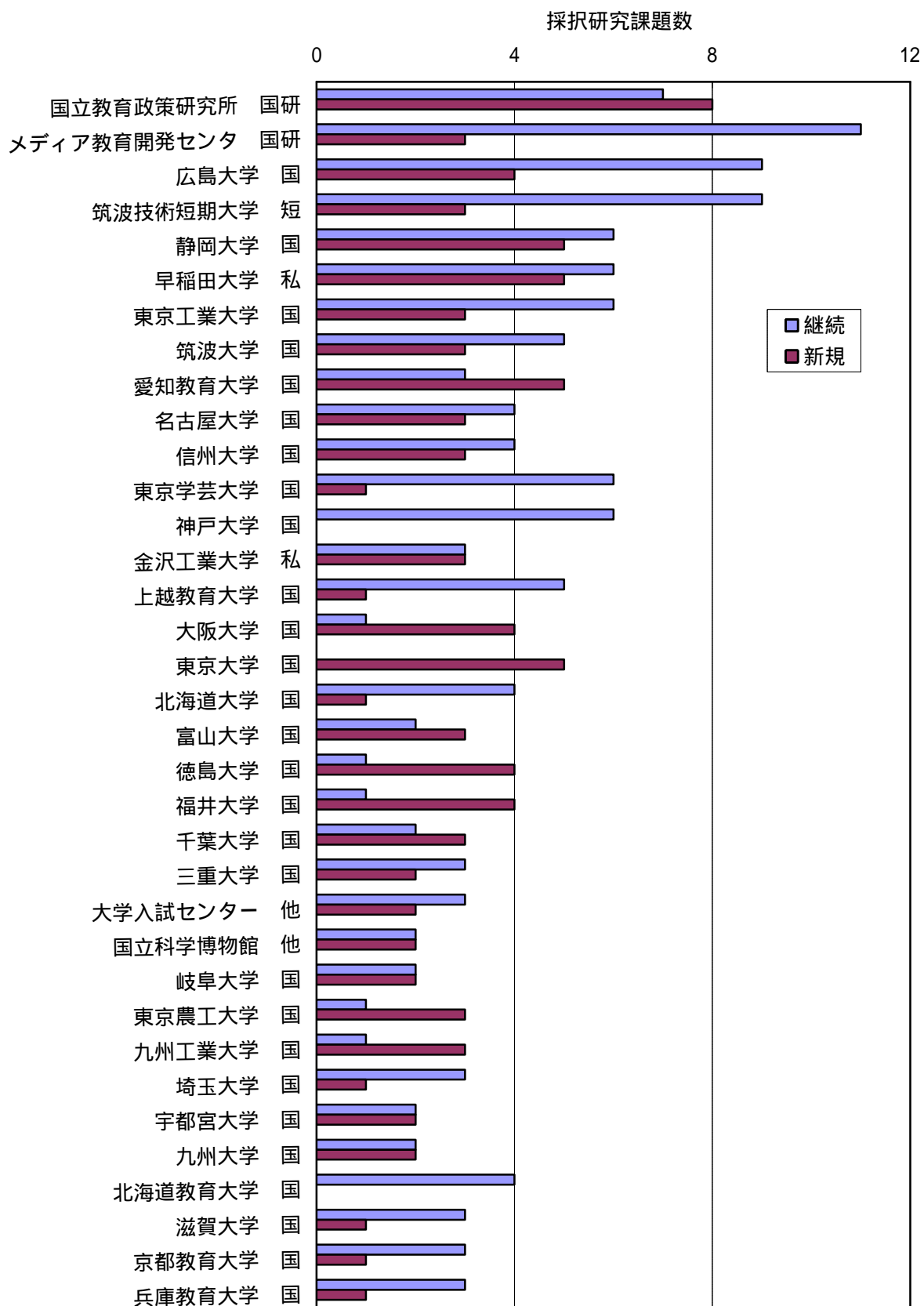


図2 - 8 - 6 科学教育・教育工学の新規研究課題数および継続研究課題数（2003年度）

## 2 - 2 複合新領域

分野：複合新領域は、旧研究コードの部：複合領域の分科：環境学を中心に新しい分野が立てられ、その中に「分科」として、環境学、ナノ・マイクロ科学、社会・安全システム科学、ゲノム科学、生物分子科学、資源保全学、地域研究、ジェンダーをもつ。

分野：複合新領域の中の環境学、ナノ・マイクロ科学、社会・安全システム科学、ゲノム科学、生物分子科学、資源保全学、地域研究、ジェンダーの「分科」ごとの採択研究課題数を図2 - 9の円グラフに示す。この各「分科」の採択研究課題数の割合は、環境学 42.4%、ナノ・マイクロ科学 12.0%、社会・安全システム科学 21.2%、ゲノム科学 3.1%、生物分子科学 7.5%、資源保全学 2.4%、地域研究 4.9%、ジェンダー6.5%である。採択研究課題数では、環境学が全体の4割強を占め、社会・安全システム科学、ナノ・マイクロ科学が続く。旧研究コードの時限付き細目から「分科」として独立したジェンダーも6%以上を占めている。

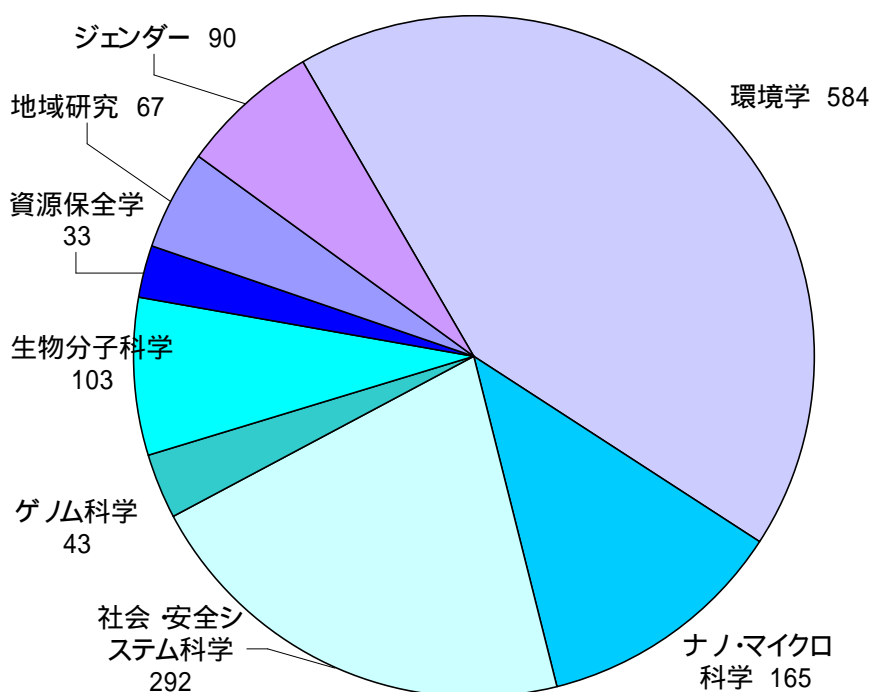


図2 - 9 複合新領域「分科」別採択研究課題数（2003年度）

この「分野」は、環境学、生物分子科学以外はほとんど新しく、新規採択が大半を占める。この「細目表」の変更による継続研究課題の旧研究コードから新研究コードへの移行の状況について「分科」別に「細目」レベルで示したものが、表2 - 6である。この表で見てとれるように、旧研究コードと変化が全くないといえる。

表 2 - 6 複合新領域の継続研究課題における主な旧研究コードの細目

2003 年度	継続研究課題の 2002 年度での主な旧研究コードの細目
環境学	部：複合領域，分科：環境科学全細目 801～803、部：広領域
ナノ・マイクロ科学	継続研究課題数が 10 件以上はなし
社会・安全システム科学	部：複合領域，分科：社会システム工学 741
ゲノム科学	継続研究課題なし
生物分子科学	部：複合領域，分科：生物化学，細目：生物有機化学 811
資源保全学	部：複合領域，分科：環境科学，細目：環境保全 803（注）
地域研究	継続数が 10 件以上はなし
ジェンダー	時限付き細目

注：部：複合領域，分科：環境科学，細目：環境保全 803 は環境学へ 104 件、資源保全学へは 11 件。

以下、環境学、ナノ・マイクロ科学、社会・安全システム科学、ゲノム科学、生物分子科学、資源保全学、地域研究、ジェンダーの各「分科」について、I 章で述べた方針にしたがって上位 30 位までを表にまとめ、表 2 - 7 - 1 ~ 2 - 7 - 3 に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図 2 - 10 - 1 ~ 2 - 10 - 2 に示す。ただし、分科：環境学、社会・安全システム科学以外の「分科」は採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

また、「分科」別に 2002 年度（平成 14 年度）からの継続研究課題数と新規研究課題数を機関別に示す棒グラフも、図 2 - 11 - 1 ~ 2 - 11 - 2 に掲載した。このとき、総合領域と同様に、掲載は総採択研究課題数順、すなわち図 2 - 10 - 1 ~ 2 - 10 - 2 と同じ順序とした。

これらの新しい分野での採択研究課題数が大学ごとに、どのように推移していくかは今後興味があるところである



表2 - 7 - 2 複合新領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2003年度)(2)

金額単位/千円

ゲム科学					生物分子科学					資源保全学				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	他	理化学研究所	7	25,700	1	国	京都大学	8	25,100	1	国	北海道大学	5	33,200
2	国	奈良先端科学技術大学院大学	4	9,600	2	国	大阪大学	7	49,300	2	国	東京大学	4	10,700
3	国	大阪大学	3	53,000	2	国	東京大学	7	48,400	3	公	大阪府立大学	2	6,900
3	国	筑波大学	3	8,600	2	国	東北大学	7	32,100	3	国	琉球大学	2	3,800
5	国	東京大学	2	11,300	5	国	東京工業大学	6	18,800	3	国	帯広畜産大学	2	2,700
5	国	北海道大学	2	9,000	6	国	九州大学	5	21,500	3	公	姫路工業大学	2	1,300
5	国	熊本大学	2	4,300	6	私	慶應義塾大学	5	19,600					
					6	他	理化学研究所	5	10,900					
					9	国	岡山大学	3	28,300					
					9	国	名古屋大学	3	17,200					
					9	公	静岡県立大学	3	12,300					
					9	国	徳島大学	3	10,000					
					13	国	鹿児島大学	2	16,300					
					13	他	(独)産業技術総合研究所	2	11,200					
					13	国	東京農工大学	2	6,200					
					13	国	筑波大学	2	5,600					
					13	国	岐阜大学	2	5,100					
					13	国	京都工芸繊維大学	2	4,200					
					13	公	大阪市立大学	2	3,700					
					13	国	北海道大学	2	3,400					
					13	国	広島大学	2	2,500					
					13	民研	(財)サントリー-生物有機科学研究所	2	2,400					
合計			43	200,500	合計			103	414,000	合計			33	126,900

表 2 - 7 - 3 複合領域「分科」別採択研究課題数上位 30 位 (2003 年度)(3)

金額単位/千円

地域研究					ジェンダー				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	京都大学	8	30,200	1	国	一橋大学	4	4,100
2	国	東京大学	7	33,700	2	国	お茶の水女子大学	3	11,700
3	国	東京外国語大学	5	25,200	2	私	立命館大学	3	4,100
4	国研	国立民族学博物館	3	20,000	2	国	新潟大学	3	3,900
4	国研	国際日本文化研究センター	3	14,600	5	国	千葉大学	2	6,400
4	国	東北大学	3	6,900	5	国	東京学芸大学	2	3,100
4	国	大阪大学	3	6,100	5	私	東京女子大学	2	2,800
8	国	一橋大学	2	12,000	5	私	明治学院大学	2	2,400
8	国	神戸大学	2	10,600	5	国	鳴門教育大学	2	2,200
8	国	千葉大学	2	10,400	5	公	京都府立大学	2	1,900
8	私	同志社大学	2	5,200	5	公	大阪女子大学	2	1,700
					5	私	十文字学園女子大学	2	1,700
					5	国	神戸大学	2	1,300
					5	公	岩手県立大学	2	1,100
合計			67	262,800	合計			90	121,300

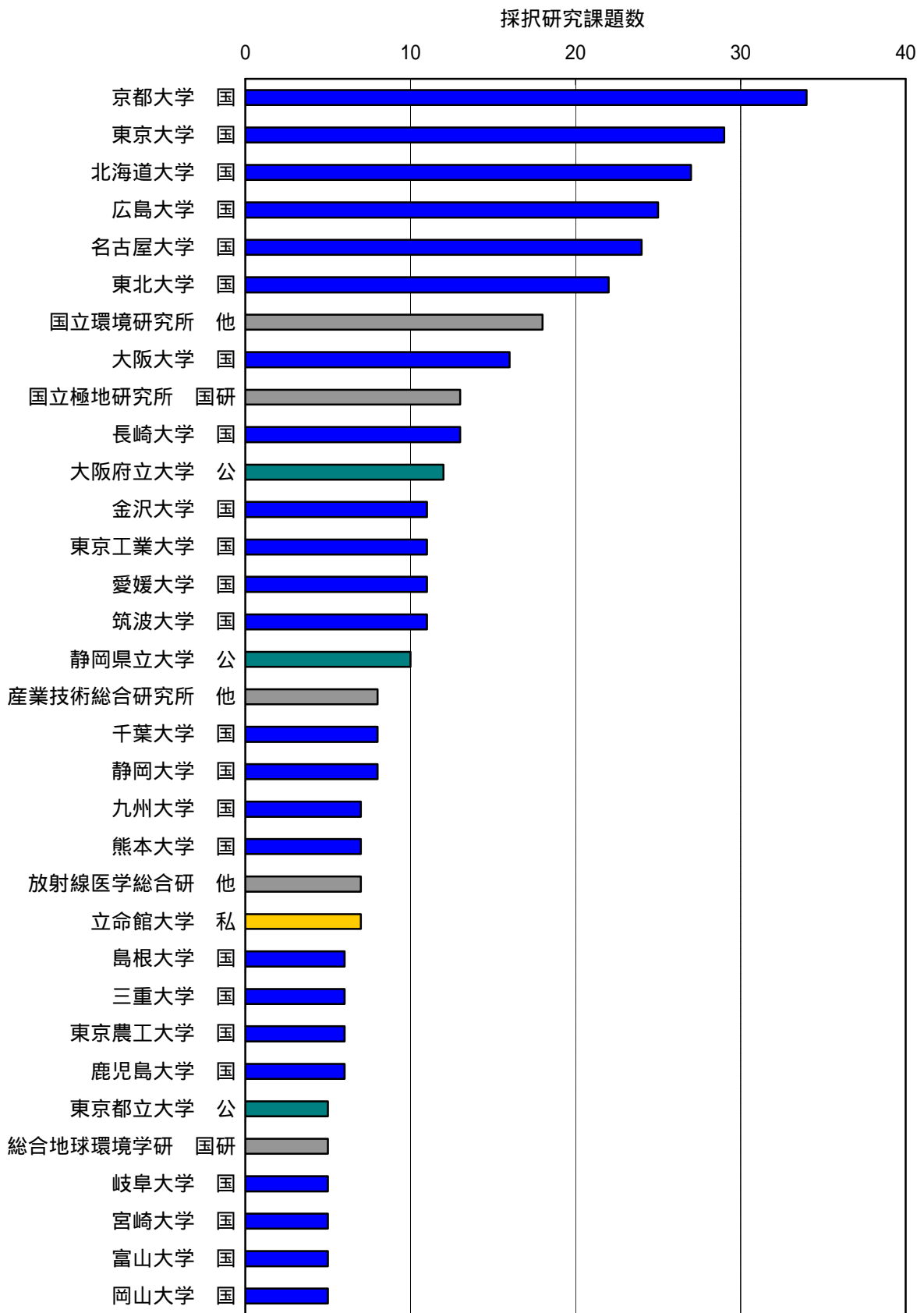


図2 - 10 - 1 環境学採択研究課題数上位30位(2003年度)



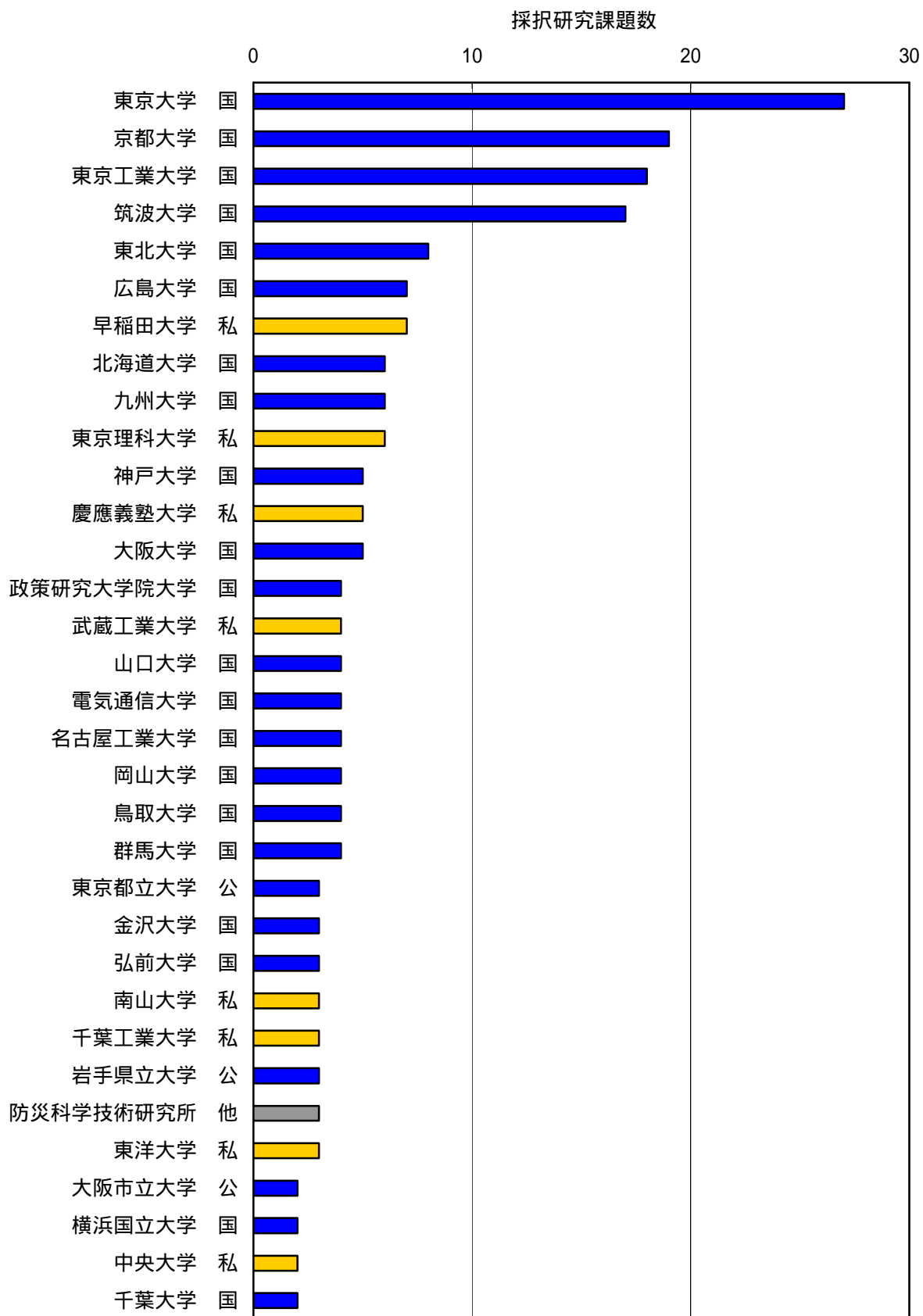


図 2 - 10 - 2 社会・安全システム科学採択研究課題数上位 30 位 (2003 年度)

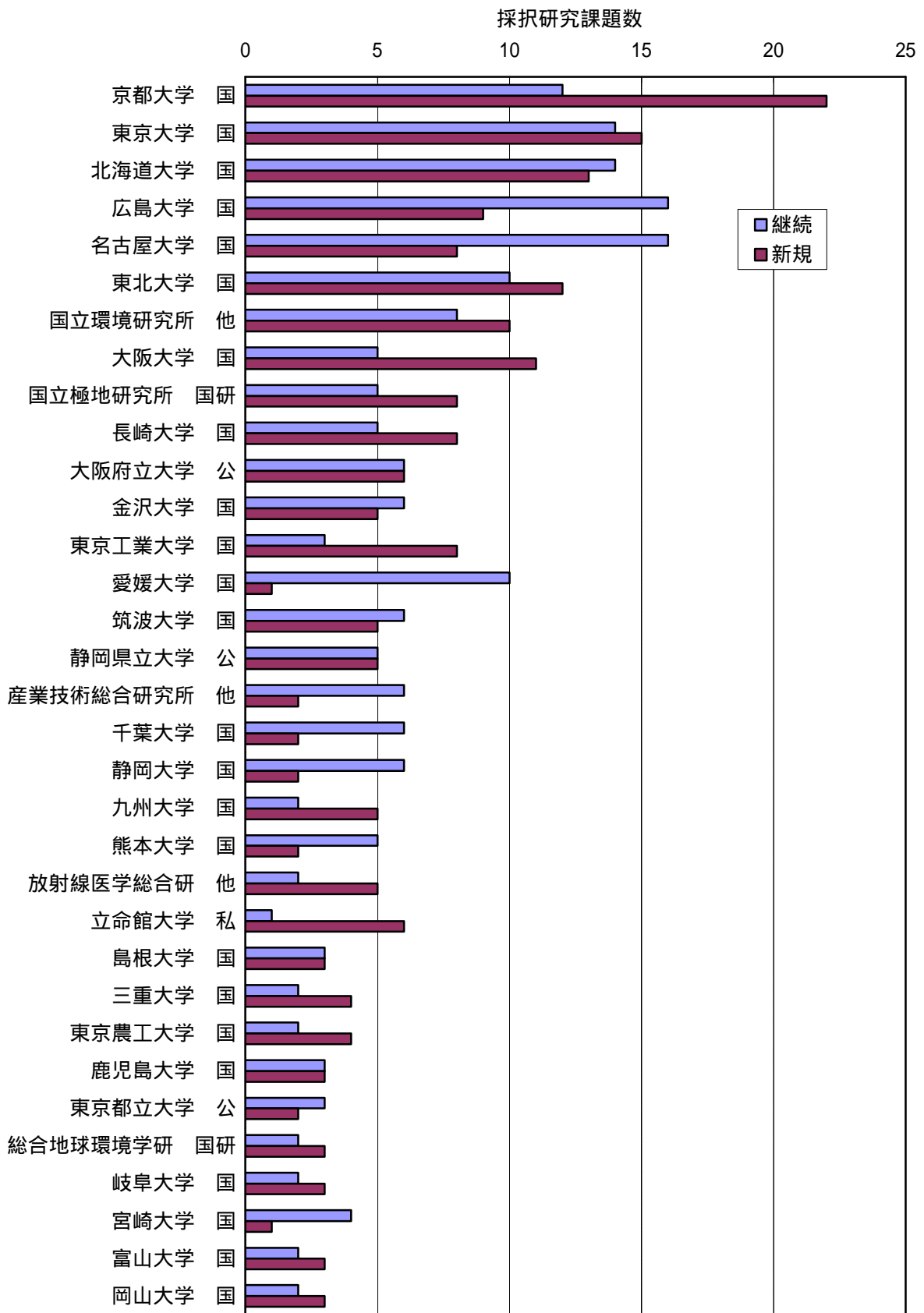


図 2 - 11 - 1 環境学の新規研究課題数および継続研究課題数 (2003 年度)

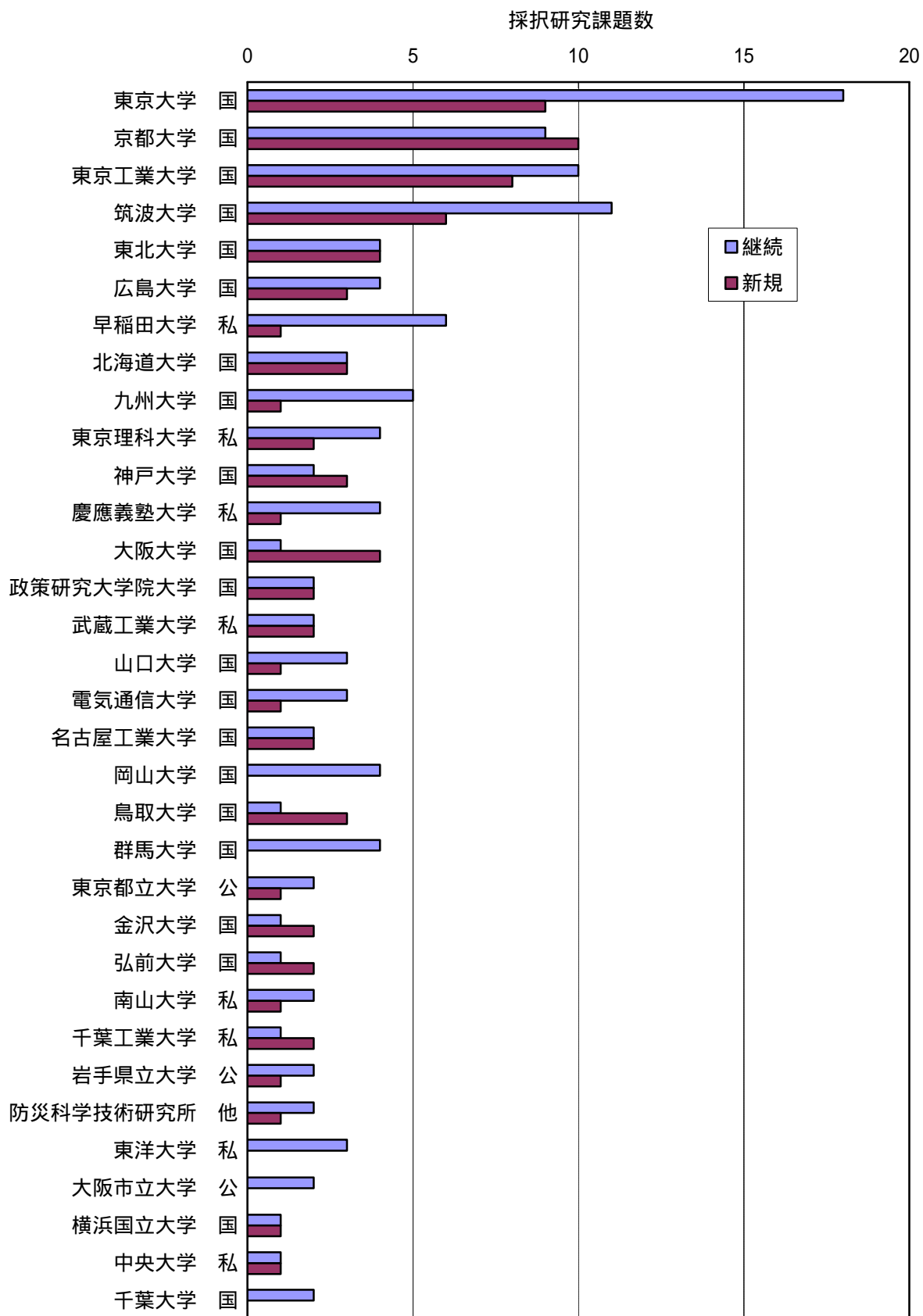


図 2 - 11 - 2 社会・安全システム科学の新規研究課題数および継続研究課題数（2003年度）

## ・科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性化度：大型研究費編

### 1. 概要

ここまでは、特別研究員奨励費を除く個別課題研究費（基盤研究・萌芽研究・若手研究）を、「分野」ごとに機関別順位を作成して、「細目表」の改訂による影響について述べてきた。本章では、「細目表」の改訂に本質的な影響を受けない大型研究費（特別推進研究・特定領域研究・特別研究促進費・学術創成研究費）について、解析を行う。I 章でも述べたように、このような調査研究には連続性が必要であることを考慮し、大型研究費についても、1998 年度（平成 10 年度）～2002 年度（平成 14 年度）の 5 年間分について 2004 年（平成 16 年）に行った調査研究と同じスタンスに立ってデータの整理・分析を行うこととする。本章で取り扱う大型研究費は大別すると、大型プロジェクト研究、および一件当りの研究費の配分金額が大きな重点的研究がある。

このうち、大型プロジェクト研究には、次のようなものがある（日本学術会議ホームページから引用）。2003 年度（平成 15 年度）では、特定領域研究のみとなっている。

#### 特定領域研究：

21 世紀の我が国の学術研究分野の水準向上・強化につながる研究領域、地球規模での取り組みが必要な研究領域、社会的要請の特に強い研究領域を特定し機動的かつ効果的に研究の推進を図るもの。期間：3～6 年。単年度あたりの配分額の目安：1 領域 2 千万円～6 億円程度。

2003 年度（平成 15 年度）も引き続き採択されている。

#### 地域連携推進研究費：

地域における研究開発プロジェクト等と有機的な連携の下に推進する、実用の可能性の高い研究助成。期間：3 年以内。

本研究種目は 1999 年度（平成 11 年度）からスタートしたが、2003 年度（平成 15 年度）は継続研究課題のみで新規研究課題の採択はない。

一方、個人研究を基本とする配分金額の大きな重点的研究として、次の 3 研究種目を対象とした。

#### 特別推進研究：

国際的に高い評価を得ている研究であって、格段に優れた研究成果をもたらす可能性のある研究。期間：3～5 年。申請総額：5 億円程度を目安（制限は設けない）。

2003 年度（平成 15 年度）も引き続き採択されている。

#### 創成的基礎研究費（学術創成研究費）：

科学研究費補助金等による研究のうち優れた内容をもつ研究分野に着目し、当該分野の研究を推進する上で特に重要な研究課題を選定し、創造性豊かな学術研究の一層の推進を図るもの。期間：5 年。推薦制。

本研究種目は 2000 年度（平成 12 年度）までで、2001 年度（平成 13 年度）から学術創成研究費として継続されている。

#### 特別研究促進費：

緊急かつ重要な研究課題の研究助成。

本研究種目は 2001 年度（平成 13 年度）から発足しており、2003 年度も引き続き採択している。

2003年度(平成15年度)の科学研究費補助金全体に対する、個別課題研究費(基盤研究・萌芽研究・若手研究)と大型研究費(特別推進研究・特定領域研究・特別研究促進費・学術創成研究費)、個別課題研究費の一種である特別研究員奨励費やその研究種目および審査・評価・分析経費について、項目別の予算額について、表3-1に示す。そのうち、2003年度(平成15年度)については、予算額の割合を、図3-1の円グラフに示す。

2002年度(平成14年度)に比べて、個別研究課題費が58.0%から58.2%に、大型研究費が35.7%から35.8%に、特別研究員奨励費も3.3%から3.1%に、研究成果公開促進費も2.0%から1.9%に微妙に変化しているが、全体としてはほとんど変化がない。

表3-1 科学研究費補助金の項目別予算額

金額単位/千円

研究種目	2002年度	2003年度
1.科学研究費	151,311	157,161
(1)特別推進研究	12,730	12,980
(2)特定領域研究	38,591	40,291
(3)基盤研究(S)	6,580	7,880
(4)基盤研究(A)	20,640	20,640
(5)基盤研究(B)	34,110	34,110
(6)基盤研究(C)	19,870	19,870
(7)萌芽研究	4,000	4,600
(8)若手研究(A)	2,490	4,030
(9)若手研究(B)	10,950	11,410
(10)奨励研究	200	200
(11)特別研究促進費	1,150	1,150
2.研究成果公開促進費	3,382	3,382
(1)学術定期刊行物	884	884
(2)学術図書	685	685
(3)データベース	1,416	1,416
(4)研究成果公開発表	397	397
3.特定奨励費	770	770
4.特別研究員奨励費	5,650	5,490
5.地域連携推進研究費	600	0
6.学術創成研究費	7,670	8,780
7.審査・評価・分析経費	917	917
合計	170,300	176,500

「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査一覧」(株ぎょうせい)より

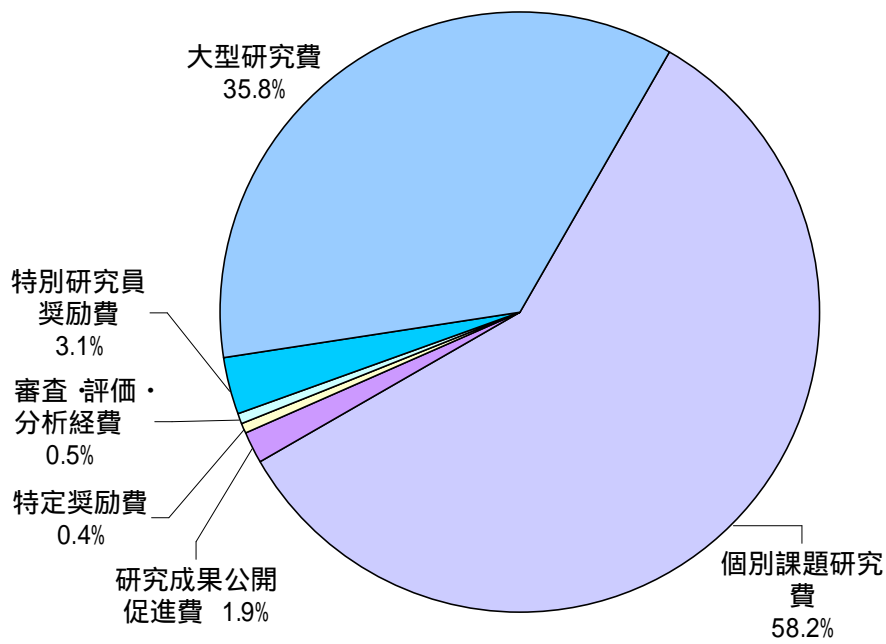


図3 - 1 科学研究費補助金の項目別予算額（2003年度）

さらに、大型研究費の中での種目別の予算額を、図3 - 2の円グラフに示す。

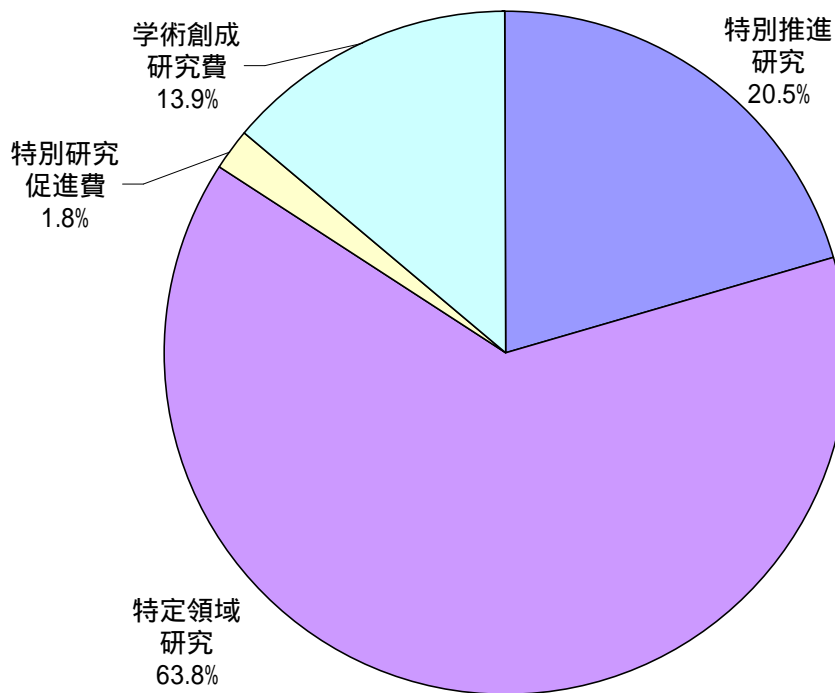


図3 - 2 大型研究費の研究種目別予算額（2003年度）

大型研究費の内訳を見ると、特定領域研究が2002年度（平成14年度）の63.5%から63.8%に、特別推進研究も21.0%から20.5%に、特別研究促進費が1.9%から1.8%に、学術創成研究費が12.6%から13.9%に微妙に変化しているが、研究種目が減ったにもかかわらずほとんど同じである。

大型研究費の種目別採択研究課題数の2002年度、2003年度の比較を次の表3-2にまとめる。以降、各研究種目の採択件数について解析を行っていく。

表3-2 大型研究費の研究種目別採択研究課題数

研究種目	2002年度	2003年度
特別推進研究	54	86
特定領域研究	3,777	3,252
学術創成研究費	55	71
特別研究促進費	22	14
COE形成基礎研究費	33	0
地域連携推進研究費	48	0

## 2. 大型研究費（特定領域研究・特別推進研究等）の特徴

2003 年度（平成 15 年度）大型研究費の採択研究課題数、配分予算額を表 3 - 3 にまとめて示す。特定研究促進費は事実上継続研究課題のみとなっているため、大型プロジェクト研究は特定領域研究のみ、配分金額の大きな重点的研究は特別推進研究と学術創成研究費の 2 種目に整理されている。以下に、それぞれの研究種目について、総採択研究課題数について機関別の順位を示す。また、機関別の新規および継続別の採択研究課題数もあわせて表記する。

表 3 - 3 大型研究費研究種目別採択研究課題数（2003 年度）

金額単位/千円

研究種目		新規採択研究課題		継続研究課題		合計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
特別 推進 研究	合計	16	1,559,000	70	7,714,000	86	9,273,000
	旧来からの特別 推進研究	16	1,559,000	46	3,019,000	62	4,578,000
	COE形成基礎研 究からの変更	-	-	24	4,695,000	24	4,695,000
特定領域研究		1,728	8,962,600	1,524	20,596,100	3,252	29,558,700
学術創成研究費		18	1,331,100	53	4,747,500	71	6,078,600
特別研究促進費		0	0	14	68,800	14	68,800

## 3. 研究種目別

### 3 - 1 特定領域研究

特定領域研究は、2002 年度（平成 14 年度）から特定領域研究 A、B の区分がなくなり、すべての研究領域が単に特定領域研究と称されるようになった。本種目は、過去 5 年の間に制度が細かく変更されている。1998 年度（平成 10 年度）からそれまでの重点領域研究から特定領域研究と種目名称が変更され、研究期間の間に計画研究以外に公募研究を募集する特定領域研究(A)と計画研究のみの特定領域研究(B)とに分離した。さらに、2000 年度（平成 12 年度）には、特定の目的に対応するため特定領域研究(C)が創設されている。特定領域研究(C)は、当初ミレニアムプロジェクトとして癌撲滅を目的とした研究を中心に開始されたが、その後、特定領域の中へ取り込まれており、その他の特定領域とは目的が大きく異なった政策的な研究領域といえる。このような制度変更が数多くなされているが、特定領域研究の新たな領域の発足時期よりも公募研究を募集する公募要領の作成時期が早いために、公募要領のみからは全ての領域を把握することは難しい。公募要領を中心として、1998 年（平成 10 年度）～2002 年（平成 14 年度）の 5 年間の特定領域研究の領域数について、NII テクニカルレポートに昨年報告しているが、領域数については誤りがあることが判明した。この場を借りて、訂正するとともに、お詫び申し上げたい。



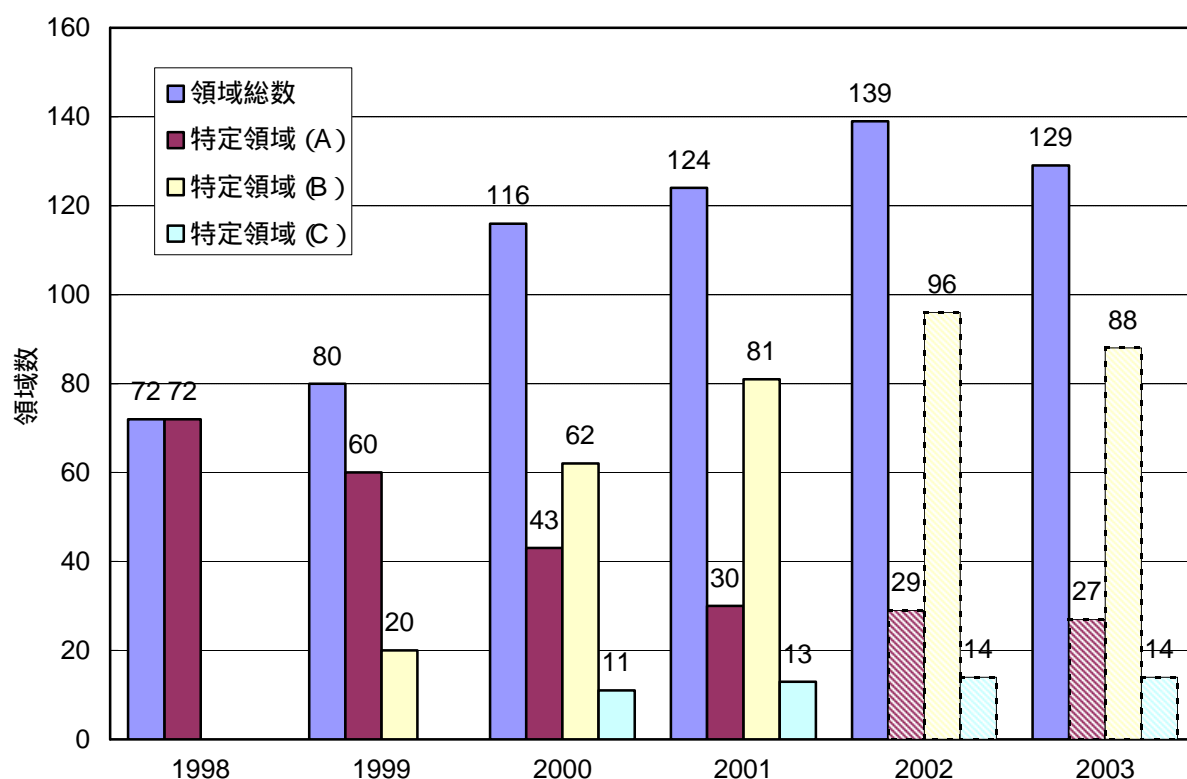


図3 - 3 特定領域研究の領域数の年度推移

図3 - 3に、昨年報告した特定領域数の誤りを訂正した上で、2003年度（平成15年度）の特定領域数を加えた、年度推移を示す。1998年度（平成10年度）より特定領域研究(B)も採択されているはずであるが、我々の調査結果からは特定領域研究(B)の採択領域数を見つけることはできなかった。採択後、研究期間が開始するのが年度途中であることから、実質的には1999年度（平成11年度）より始まったといえるかもしれない。2002年度（平成14年度）より領域の区分A、B、Cは廃止されたが、継続している領域の状況や2002年度（平成14年度）の公募研究の募集要領等から、現状の領域数を分割してみると、図に示したようになる。特定領域研究(B)相当が中心となり、特定領域(A)相当が徐々に減少していることが、見てとれる。

特定領域研究の採択研究課題数を機関別に整理したものの上位50位を表3 - 4に、総採択研究課題数の棒グラフを図3 - 4にそれぞれ示す。また、特定領域研究の新規研究課題数と継続研究課題数を機関別に整理したものを図3 - 5にそれぞれ示す。このとき、掲載順は、総採択研究課題数順、すなわち図3 - 4と同じ順序とした。

機関別の採択研究課題数の順位は、1998年度（平成10年度）～2002年度（平成14年度）までの5年間の総採択研究課題数の傾向とほとんど変わらない。

表3 - 4 特定領域研究採択研究課題数上位50位(2003年度)

金額単位/千円

順位	種別	研究機関名	新規採択研究課題		継続研究課題		合計	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	国	東京大学	189	1,058,400	223	6,014,700	412	7,073,100
2	国	京都大学	128	715,200	127	1,684,200	255	2,399,400
3	国	大阪大学	127	691,000	91	1,232,900	218	1,923,900
4	国	東北大学	76	368,200	78	891,700	154	1,259,900
5	国	名古屋大学	61	366,700	58	809,600	119	1,176,300
6	国	九州大学	59	284,500	51	442,700	110	727,200
7	国	東京工業大学	29	140,000	65	613,900	94	753,900
8	国	北海道大学	50	252,400	38	342,500	88	594,900
9	他	理化学研究所	49	363,200	29	279,500	78	642,700
10	国	筑波大学	41	190,700	30	344,500	71	535,200
11	国	広島大学	24	83,200	35	298,700	59	381,900
12	私	慶應義塾大学	26	133,300	30	266,800	56	400,100
13	国研	岡崎国立共同研究機構	36	211,400	16	221,400	52	432,800
14	国	神戸大学	35	210,500	10	91,600	45	302,100
15	国	東京医科歯科大学	25	163,600	19	260,500	44	424,100
16	国	奈良先端科学技術大学院大学	26	115,600	15	358,800	41	474,400
17	国	熊本大学	17	86,500	19	201,100	36	287,600
17	国	金沢大学	21	105,000	15	117,400	36	222,400
17	国	千葉大学	24	136,200	12	83,300	36	219,500
20	国	岡山大学	17	97,200	15	90,700	32	187,900
21	国研	国立遺伝学研究所	23	128,100	8	985,100	31	1,113,200
22	国	群馬大学	20	94,900	10	83,900	30	178,800
23	公	大阪市立大学	16	84,600	11	120,800	27	205,400
24	他	(財)東京都医学研究機構	23	121,900	3	31,400	26	153,300
24	国	長崎大学	19	87,600	7	41,000	26	128,600
26	公	東京都立大学	9	78,900	14	281,500	23	360,400
26	国	徳島大学	12	97,800	11	165,800	23	263,600
26	私	早稲田大学	8	19,200	15	91,000	23	110,200
29	国研	高エネルギー加速器研究機構	7	85,600	15	297,700	22	383,300
30	他	国立がんセンター	6	31,300	14	158,700	20	190,000
30	公	大阪府立大学	7	24,800	13	70,700	20	95,500
32	国	三重大学	8	35,800	11	96,500	19	132,300
32	国	東京農工大学	4	11,000	15	57,300	19	68,300
34	公	横浜市立大学	9	42,100	9	123,600	18	165,700
34	国	山口大学	10	38,100	8	37,400	18	75,500
36	国	横浜国立大学	9	47,000	8	83,400	17	130,400
36	国	静岡大学	9	45,700	8	45,600	17	91,300
38	公	札幌医科大学	8	36,800	8	107,900	16	144,700
38	国	新潟大学	12	55,900	4	20,900	16	76,800
38	私	東京理科大学	8	38,200	8	33,300	16	71,500
41	公	名古屋市立大学	7	32,400	7	64,300	14	96,700
41	国	愛媛大学	6	17,900	8	75,000	14	92,900
41	国	信州大学	9	35,300	5	49,400	14	84,700
41	国	岐阜大学	6	17,600	8	48,400	14	66,000
45	他	愛知県がんセンター	5	21,700	8	197,700	13	219,400
46	私	順天堂大学	6	42,900	6	82,800	12	125,700
46	他	国立感染症研究所	11	60,900	1	22,300	12	83,200
46	国	埼玉大学	5	15,800	7	31,300	12	47,100
49	国	鹿児島大学	2	2,500	9	85,800	11	88,300
49	国	山形大学	7	14,000	4	16,000	11	30,000
		合計	1,728	8,962,600	1,524	20,596,100	3,252	29,558,700

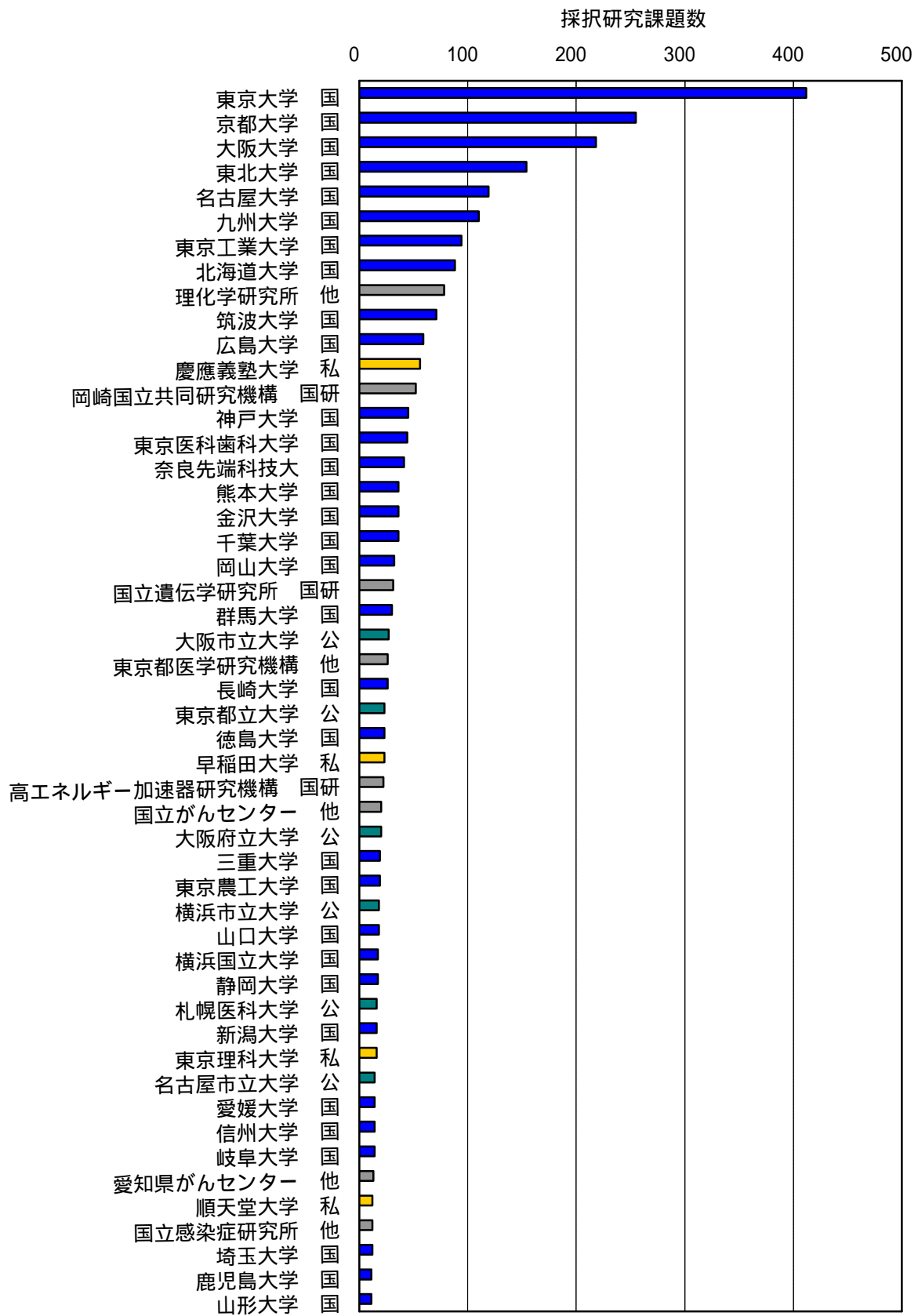


図3 - 4 特定領域研究採択研究課題数上位 50 位 (2003 年度)

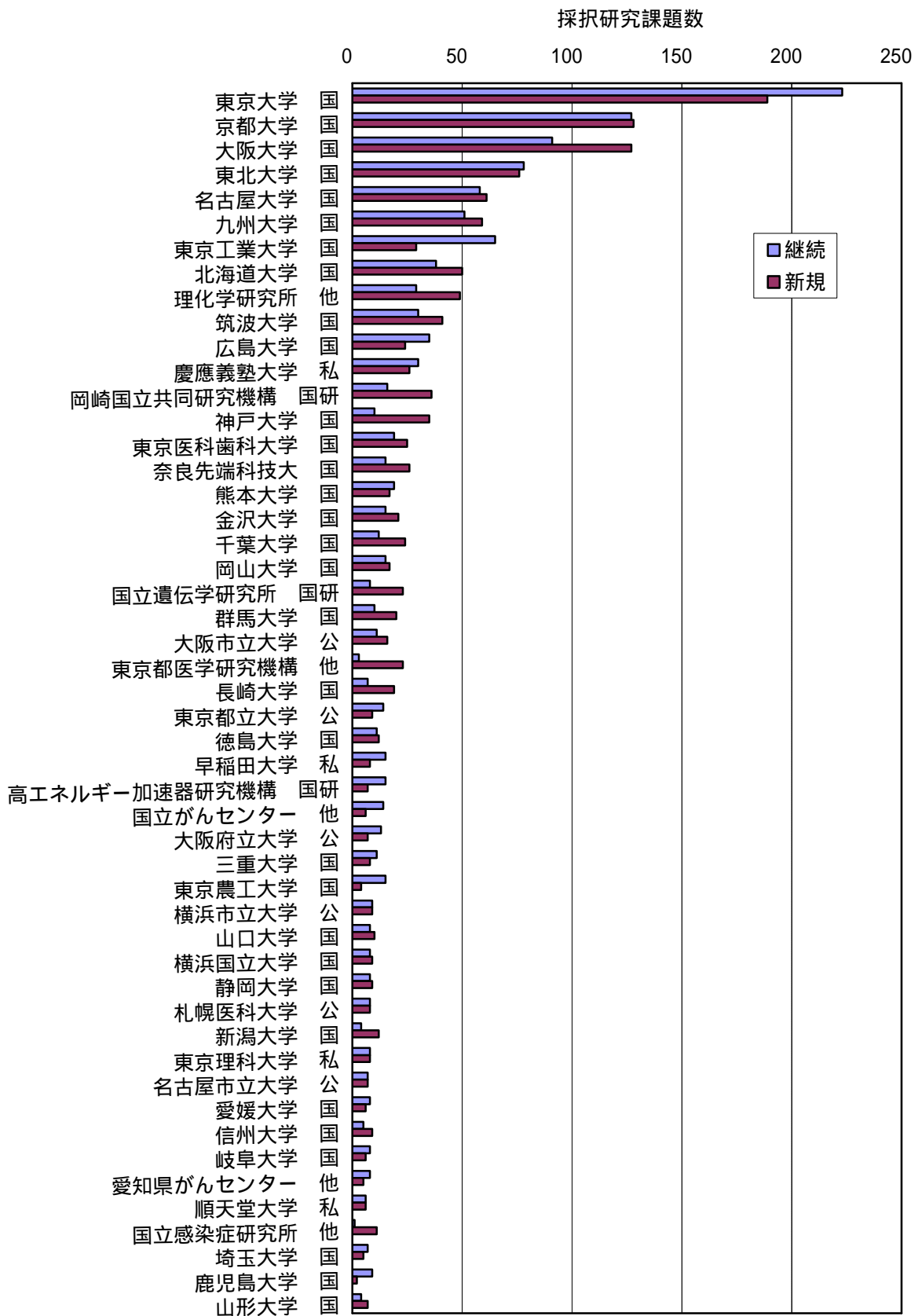


図3 - 5 特定領域研究の新規研究課題数および継続研究課題数 (2003年度)

### 3 - 2 特別推進研究

2003 年度（平成 15 年度）の特別推進研究の採択研究課題数を機関別に整理したものを表 3 - 5 に示す。先の表で見てきたように新規採択研究課題数は 16 件で、前年度からの継続研究課題数が 70 件で全体の約 81%がこれに当る。このうち 24 件は COE 形成基礎研究費の継続分である。

表 3 - 5 特別推進研究採択研究課題数（2003 年度）

金額単位/千円

研究機関名	新規採択研究課題		継続研究課題		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
東京大学	3	332,000	20	2,363,000	23	2,695,000
京都大学	1	37,000	10	1,216,000	11	1,253,000
東北大学	1	57,000	5	525,000	6	582,000
大阪大学	1	122,000	4	879,000	5	1,001,000
名古屋大学	1	68,000	4	528,000	5	596,000
岡崎国立共同研究機構	2	238,000	2	158,000	4	396,000
九州大学			3	275,000	3	275,000
理化学研究所	1	67,000	2	160,000	3	227,000
早稲田大学			2	385,000	2	385,000
国立天文台			2	171,000	2	171,000
東京工業大学			2	45,000	2	45,000
東京理科大学	1	190,000			1	190,000
広島大学			1	130,000	1	130,000
慶應義塾大学			1	130,000	1	130,000
政策研究大学院大学			1	120,000	1	120,000
千葉大学	1	117,000			1	117,000
豊橋技術科学大学	1	107,000			1	107,000
宇宙科学研究所	1	101,000			1	101,000
東京外国語大学			1	100,000	1	100,000
高エネルギー加速器研究機構			1	95,000	1	95,000
新潟大学			1	90,000	1	90,000
特殊法人日本原子力研究所	1	88,000			1	88,000
(財)東京都医学研究機構			1	81,000	1	81,000
東京農工大学			1	72,000	1	72,000
(財)大阪バイオサイエンス研究所			1	42,000	1	42,000
明治学院大学			1	41,000	1	41,000
岩手女子看護短期大学			1	40,000	1	40,000
三重大学			1	36,000	1	36,000
九州工業大学	1	35,000			1	35,000
大分大学			1	23,000	1	23,000
徳島大学			1	9,000	1	9,000
合計	16	1,559,000	70	7,714,000	86	9,273,000

### 3 - 3 学術創成研究費

2003 年度（平成 15 年度）の学術創成研究費を次の表 3 - 6 に纏める。この学術創成研究費も前年度 2002 年度（平成 14 年度）からの継続研究課題が 53 件で全体の 75%が継続研究課題である。

表 3 - 6 学術創成研究費採択研究課題数（2003 年度）

金額単位/千円

研究機関名	新規採択研究課題		継続研究課題		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
東京大学	5	353,800	13	1,069,700	18	1,423,500
京都大学	2	148,100	5	508,300	7	656,400
名古屋大学	1	63,600	4	516,300	5	579,900
大阪大学	4	325,000	1	85,000	5	410,000
東京工業大学	1	73,100	4	324,900	5	398,000
北海道大学			4	348,900	4	348,900
岡崎国立共同研究機構	1	68,700	2	335,000	3	403,700
東北大学			3	228,300	3	228,300
慶應義塾大学			3	227,600	3	227,600
高エネルギー加速器研究機構	1	75,800	1	76,000	2	151,800
九州大学			2	137,600	2	137,600
奈良先端科学技術大学院大学			2	125,800	2	125,800
岐阜大学			1	200,000	1	200,000
東京理科大学			1	85,000	1	85,000
筑波大学			1	84,000	1	84,000
秋田大学	1	81,200			1	81,200
大阪電気通信大学			1	81,000	1	81,000
愛媛大学	1	71,900			1	71,900
群馬大学			1	70,000	1	70,000
東京都立大学	1	69,900			1	69,900
横浜市立大学			1	69,800	1	69,800
大阪市立大学			1	65,300	1	65,300
新潟大学			1	60,000	1	60,000
国立遺伝学研究所			1	49,000	1	49,000
合 計	18	1,331,100	53	4,747,500	71	6,078,600

末尾になったが、この一連の科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究にあたって、データの整理、編集、図表の作成をお願いした東京大学生産技術研究所の斉藤加余子氏に感謝の意を表す。